

(件名)

## 牧之原市公共施設マネジメント基本計画の策定に係る対話 の場における検討結果の報告について

(政策協働部地域創生課)

### 1 概要

公共施設マネジメント基本計画の策定について市から諮問を受けている自治基本条例推進会議が多様な市民の意見を確認したうえで市に答申を行うため、市民と行政が公共施設の状況を学びながら、意見を交わす対話の場を開催した。

参加者は、関係する団体から選定するとともに、公募などで集めた。

### 2 開催日等

回次	開催日	会場
第 1 回	9 月 9 日 (水)	榛原文化センター 3 階会議室
現地視察	9 月 29 日 (火)	庁舎、相良小学校、史料館 など
第 2 回	10 月 8 日 (木)	榛原総合病院 展望レストラン
第 3 回	10 月 23 日 (金)	相良総合センター ガレリア
第 4 回	11 月 17 日 (火)	坂部区民センター ホール
第 5 回	12 月 17 日 (木)	史料館 2 階ホール

※各回の時間は、午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分までの 3 時間

### 3 進め方

- ・事務局からの情報提供（前回の結果、検討案など）後に男女協働サロンの方式でテーマについて意見交換 ※その回のテーマに合わせて投票なども実施
- ・まちづくり協働ファシリテーターが会議を進行

### 4 対話の場としてのまとめ

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| (1) 対話の場における大切にしている視点（基本理念） | 2～5 ページ |
| (2) 対話の場における施設分類別の方向性       | 6～7 ページ |
| (3) 対話の場における先導的な施設（プロジェクト）  | 8 ページ   |

### 5 今後のスケジュール

- ・対話の場の意見を基に自治基本条例推進会議が答申内容を話し合う。
- ・2 月 28 日に自治基本条例推進会議の協議状況の報告会を開催する。
- ・年度末までに自治基本条例推進会議が市に対して答申する。
- ・答申内容に沿って市で基本計画を策定する。

## ○対話の場における 大切にする視点（基本理念）

計画を進めるための基本理念を以下のとおり整理し、対話による共感を通じて、この大切にする視点を基に公共施設マネジメントを進めます。

### 【視点1】 未来志向で考えよう！



#### 1 20年後の将来に向けて、ワクワク感を持って進めよう

20年後の未来は、私たちが想像する以上に大きく変わっていると予測されます。既成概念にとらわれず、この変化に向けて、柔軟に発想や意識を転換します。

新しいことを積極的に取り入れ、デザイン性や使いやすさ、愛着をみんなで追求することで、魅力ある公共施設にします。

また、魅力ある将来の姿に向かうため、一時的な不便さにとらわれず、未来志向の価値観を大事にします。幸せは施設の数ではありません。

#### 2 子や孫世代のため、覚悟とスピード感を持って進めよう

このまちの将来を担う子や孫世代の明るい未来のためには、今を生きる私たちが真剣に取り組まないといけません。

次世代に借金やツケを残さないため、状況の変化に合わせて考え、行動する勇氣と覚悟をもってこの問題に臨みます。

この問題は、全国各地で起こっていることであり、時間が経つほど深刻化するため、スピード感を持って取り組みます。

#### 3 優先度の高いことから積極的に取り組もう

未来志向で進める中でも、一步ずつ着実に前に進むことが必要です。そのためには、全ての分野を画一的に進めるのではなく、大切にする視点を基に重点的かつ具体的に手を付けなければなりません。

安心して子どもを産み育てる環境、災害時の対応などの防災、地域のコミュニティなどを通じた世代を超えた交流などを大切にしています。

### 【視点2】 賢く使おう！



#### 1 今あるものを活かそう

未来志向での考え方で進めるとともに、現実にある施設の新たな使い方や価値

を発見することで、施設を賢く、有益に活用します。

原則として新たな施設はつくらず、今ある施設を活かします。残すことができる施設は残して、現在の状況に合った使い方に賢く転換します。

日々の手入れなどの工夫をするとともに、利用する人達の主体性を大切にする  
ことで施設への愛着を育み、大事に使うことで、できるだけ長持ちさせます。

## 2 新しい発想で有効活用しよう

公共施設の機能をその特性に合わせて、効果的に集約、複合化など行い、施設の機能を再配置します。

また、それに伴う施設の空きスペースを活用して、新たな利用需要に応えることで、施設の総量が減っても、充実度が高まるような楽しい使い方を考えます。

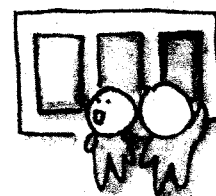
公共性を持つ民間施設などとの連携を深めるとともに、民間の方が施設の設置や運営に長けている分野の民営化を進めます。民間との連携や協力により、幅広く、質の高い公共サービスの提供に努めます。

## 3 無理・無駄を省いて効率よく使おう

利用効率が悪い施設などの状況を分析し、無理や無駄を省く使い方を考えます。また、耐震などの安全性が不十分な施設は、早期に改修または廃止を検討します。

利用率の低い施設は、施設の面積当たりのコストが割高になるなど、公平性が損なわれる恐れがあるため、他の用途への転換や複合化を進めます。また、夜間や休日の利用などのニーズを確認し、稼働率が高まる使い方に見直します。

### 【視点3】 共感を大事にしよう！



#### 1 状況や考え方を知ろう、知ってもらおう

公共施設の賢く、合理的な使い方を考えるためには、現状、設置の経緯及び目的などを共有することが必要です。施設の設置者は、知ってもらうための広報に努め、利用者もこれらの状況を知るように努めます。

また、施設の魅力や面白い使い方を発信することで市民の関心を高め、みんなに愛される利用率の高い施設を目指します。

#### 2 意識や考え方を共有する対話の場を設けよう

施設に係る方針やデータを整理し、この問題に対する基本的な考え方をみんな  
で共有します。

また、公共施設には、多くの人の様々な想いが込められています。数は少なく

ても、その施設に大切な想いを持つ人の意見にも耳を傾けるとともに、みんなで認め合い、支え合う相互扶助感を持って進めます。

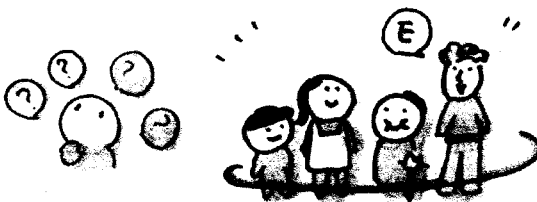
### 3 みんなの知識、やる気を引き出す進め方をしよう

みんなの想い、疑問、アイデアなどを共有する対話の場を設けることで、学び、気づき、共感を通じて、この問題への納得感が高まる進め方をします。

また、空き施設の活用などについては、行政、市民、その他の関係者の英知を結集してまちの賑わいを創出する視点で考えます。

この問題に関わる人達の知識、やる気が高まることで、その才能を広げ、市民力を進化させるような進め方をします。

#### 【視点4】 みんなでやろう！



##### 1 みんなで考えよう

この問題は、一人一人の生活に関わる重要な問題であるからこそ、みんなが自分事として考えることが必要です。多少の不具合や不便さを感じたり、一時的な不効率があつたりしたとしても、市民全体の利益を考えて、市民と行政が一緒になって、みんなで取り組んでいきます。

##### 2 自分達でできることは自分達でやろう

誰かが解決してくれると考えるのではなく、小さなことでも自分達ができることを考え、自分達から直ぐに行動します。

施設を実際に使用している人が、その施設の事を一番身近に考え、愛着と親しみを持っています。施設を管理する行政、使用する市民という関係に固執することなく、利用と負担を一緒に考え、みんなで維持管理する体制を実現します。

多くの人に関わることで、使いやすい、愛着ある施設に育てていきます。

##### 3 市民力を発揮しよう

設置者と使用者が対立するのではなく、対話を通じて効果的に連携し、役割分担して魅力ある施設づくりを目指します。

また、地区などの自治会を中心とした生活密着型の組織を核に、その活用方法を主体的に考えるとともに、多様な能力や価値観を持った人が市の内外から集まり、様々な立場や視点に配慮しつつ、その能力を最大限発揮することで、公共施設を活用した魅力あるまちづくりを進めます。

## 【視点5】 まちづくりを考えよう！



### 1 牧之原市にあったまちの姿を目指そう

牧之原市は、温暖な気候、豊かな自然、多様な交通インフラの整備などにより、自然と調和した人やものの交流拠点として期待が高まっています。

牧之原市らしさを活かした魅力あるまちをつくるために、独自性のある公共施設の活用方法を考えることが重要です。

このまちに生まれ、育ち、暮らしている人達が更に住みやすく、このまちを訪れる人達が魅力を感じるまちづくりの視点で公共施設の問題を考えます。

### 2 みんなでまちのデザインを共有しよう

まちの将来のデザインをみんなで共有することは、このまちへの親しみや誇りを高める事にも繋がります。

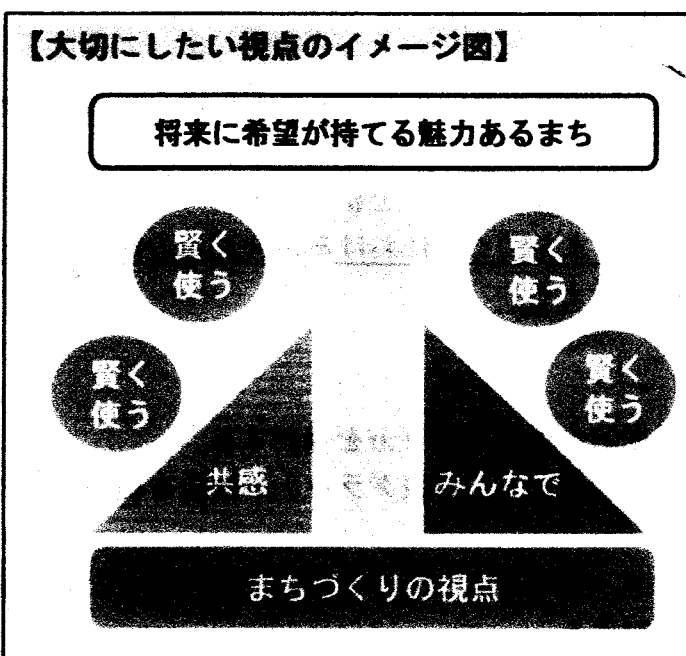
総合計画などの方向性と整合を図りながらも、まち全体や地区単位などの将来のデザインを対話によって共有し、その実現に向けて公共施設を活用します。

### 3 まちへのみんなの想いを大切にしよう

みんながこのまちに持っている想いや愛を大切にすることで、自分たちの取組がまちの将来に繋がっている実感を生むことが、周りの市町からも「おっ」と思われる取り組みに繋がります。

計画の実行性を高めるため、まちへのみんなの想いや愛を大切に公共施設マネジメントを進めます。

#### 【大切にしたい視点のイメージ図】

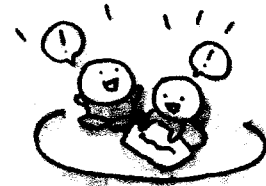


#### 【イメージ図の説明】

まちづくりの視点を基礎に、未来志向の価値観を、共感を通じてみんなで取り組むことが支え、賢く使う方法で進める。

将来に希望が持てる魅力あるまちづくりを進め、住みたい・住み続けたいと思えるまちを実現する。

## ○対話の場における 施設分類別の方向性



公共施設マネジメント基本計画における施設分類別の方向性を以下のとおり整理します。下線部分は、先導的な施設（プロジェクト）の中で横断的に検討します。

### (1) 行政・文化施設グループ

#### ■行政施設

- ・庁舎機能は、基本的に1つにまとめるが、窓口サービスの提供などに十分配慮した対応をとる。
- ・高台を含めた庁舎の移転は、長期的なまちづくりの視点で検討を続ける。
- ・まとめ方は、現在ある施設を賢く使うことを原則とし、市民が使いやすい構造や機能を確保する。
- ・まとめる先は、安全性などを考慮するとともに、空き施設の活用を含めて検討する。

#### ■文化施設

- ・史料館、民俗資料館、埋蔵文化財発掘事務所の機能を1つにまとめる。図書館は、既存施設の空きスペースを活用して施設の規模を拡大する。
- ・文化ホールは、安全性を考慮して榛原文化センターのホール棟を取り壊す。い～らは、全市で活用できる使いやすい施設とするため、既存施設の賢い活かし方を検討する。
- ・芸術文化、図書館などの機能を複合化することを、まちづくりと合わせて検討する。

### (2) 学校・体育・子育て施設グループ

#### ■学校施設

- ・小中連携教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、15年後を目途に中学校単位で小学校をまとめる。
- ・複式学級になることが見込まれる場合は、周辺校と統合する。
- ・学校の空き施設の活用については、まちづくりにおける複合利用の拠点とすることを全市的な視点で市民と一緒に考える。

#### ■体育施設

- ・学校施設の統合と合わせて、長期的な視点であり方を検討する。
- ・当面は、ぐりんぱる、相良総合グラウンド、静波グラウンド周辺を拠点として整備を進める。
- ・その他の体育館やテニスコートは、利用状況や他の施設の代替利用などを検討したうえで、廃止や用途変更を検討する。

- ・プールは、単独の設置では利用効率が悪いことが課題であるため、公園、観光などとの包括的利用、民間施設との連携を基に廃止や見直しを進める。

#### ■子育て施設

- ・少子化や2歳以下の保育需要の増加などに合わせて、施設の配置を見直すとともに、認定こども園などの形態へ移行する。
- ・保育園、幼稚園は、民間による運営を基本として考える。
- ・直営で運営している園は、指定管理制度の導入を進める。指定管理制度を導入している園は、園建設時の起債償還を目途に民営化への移行を進める。
- ・民間法人と民営化に係る協議を進める。
- ・各園の方向性は、上記の方針を基に、個別計画の中で具体的に定める。

### (3) コミュニティ、公園施設グループ

#### ■コミュニティ施設

- ・現小学校区の10地区を単位として、まちづくりの視点で施設を活用する。
- ・施設は、市が所管し、地区が運営することを基本とする。
- ・施設の老朽化などに対しては、学校の空きスペースの複合利用などを含めた質の高い、賢い使い方を地区と一緒に考える。

#### ■公園施設

- ・拠点となる公園は、地域、民間、NPOと連携して、その魅力を高める。
- ・維持管理費を見直し、コストを低減する。
- ・地域が主体的に管理運営に関わることで、使いやすい、楽しい公園を実現する。
- ・公園の魅力を積極的に情報発信し、利用率を高める。

### (4) 保健福祉・観光産業施設グループ

#### ■保健福祉施設

- ・高齢者のデイサービスセンターは、民営施設の利用を基本とする。
- ・老人会館は、他の空き施設の利用により機能を移転し、施設は安全性を考慮し、早期に廃止する。
- ・高齢者の介護予防に係る施設は、健康づくりや世代を超えた交流を進めるため、民間との連携を含めて施設の利用方法や配置を検討する。

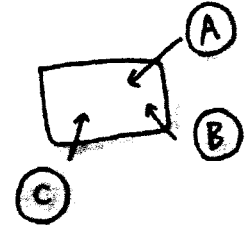
#### ■観光産業施設

- ・自然、歴史、食、スポーツなどをテーマに、魅力ある着地型観光を進める視点で施設の配置や活用方法を見直し、観光の魅力を高める。
- ・民間との連携を基本として、賢く使うことを考える。

## ○対話の場における 先導的な施設（プロジェクト）

施設分類別の方向性の中でもまちづくりの視点で横断的かつ重点的に取り組む施設であり、賢く使うためのモデルとなる施設を、先導的な施設（プロジェクト）として位置付けます。

### 庁舎施設の活用プロジェクト



#### 【概要】

庁舎のオフィス機能の統合後にその空きスペースを活用して、当該地区の賑わいを創出するための拠点をつくる。新たな人の流れをつくることで、現状よりも周辺地域を活性化させる施設とする。

また、その地区が愛着を持てるコンセプトを盛り込むとともに、コミュニティ施設なども複合化することで住民の生活の拠点として、多くの人交流する拠点施設とする。

#### 【機能のイメージ】

図書館、芸術文化、商業テナント、地区のコミュニティセンター、地産地消の物販、公的団体の事務所、その他公共性のある施設など

施設分類別の方向性の行政、文化、コミュニティ、保健福祉、観光産業関係

### 学校施設の活用プロジェクト

#### 【概要】

学校施設を活用し、市民活動や文化活動を通じて、市民間の交流が促進されるような拠点をつくる。

学校施設には、多様な形態の教室があり、体育施設なども複合的に設置されているため、多様な市民活動の展開が期待できる。

また、この拠点施設の利用を通じて、旧町単位で実施されてきた市民活動や文化活動の市単位の一体感を高め、全市的な視点での展開を図る。

#### 【機能のイメージ】

市民交流センター、生涯学習や公民館活動の拠点、青少年・高齢者の交流の拠点など

施設分類別の方向性の文化、学校、コミュニティ、保健福祉関係



# 公共施設マネジメント基本計画の策定に係る 対話の場のまとめ

## 関連資料



### ○この資料の概要

この資料は、平成27年9月から12月までの4ヵ月間において開催した「公共施設マネジメント基本計画の策定に係る対話の場」の各回における配布資料と市民の意見をまとめたものです。

### ○資料中のグループ番号の表記は以下のとおり

グループ番号	グループ
1・2	行政・文化施設グループ
3・4	学校・体育・子育て施設グループ
5・6	コミュニティ・公園施設グループ
7・8	保健福祉・観光産業施設グループ

※第4回対話の場のWS2及び第5回対話の場は、各グループのメンバーを混ぜてテーブルのメンバーを構成した。

## 牧之原市自治基本条例推進会議

### 目次

#### ○第1回対話の場の記録

配布資料	2
WS1「公共施設に係る楽しい思い出」 ※資料無し	-
WS2「現状、基本的な考え方を聞いて感じたこと」	12
新聞記事（平成27年9月10日 静岡新聞）	13

#### ○現地視察

配布資料	14～18
------	-------

#### ○第2回対話の場の記録

配布資料	20～21
WS1「大切にしたい視点を追加したいこと」	22～24
WS2「分類毎のありたい姿と現状を聞いたギャップ」	25～34
新聞記事（平成27年10月9日 静岡新聞）	35

#### ○第3回対話の場の記録

配布資料	36～39
WS1「大切にする視点（基本理念）まとめ」	40～41
WS2「施設分類別の大事にしたい意見」	42～45
WS2「施設分類別の大事にしたい意見」（投票結果）	46～47
新聞記事（平成27年10月24日 静岡新聞）	47

#### ○第4回対話の場の記録

配布資料	48～52
WS1「施設分類別の方向性に係る意見」	53～57
WS2「楽しい利活用のアイデア」	58～61
WS2「楽しい利活用のアイデア」（投票結果）	62
新聞記事（平成27年11月18日 静岡新聞）	63
新聞記事（平成27年12月16日 静岡新聞）	64

#### ○第5回対話の場の記録

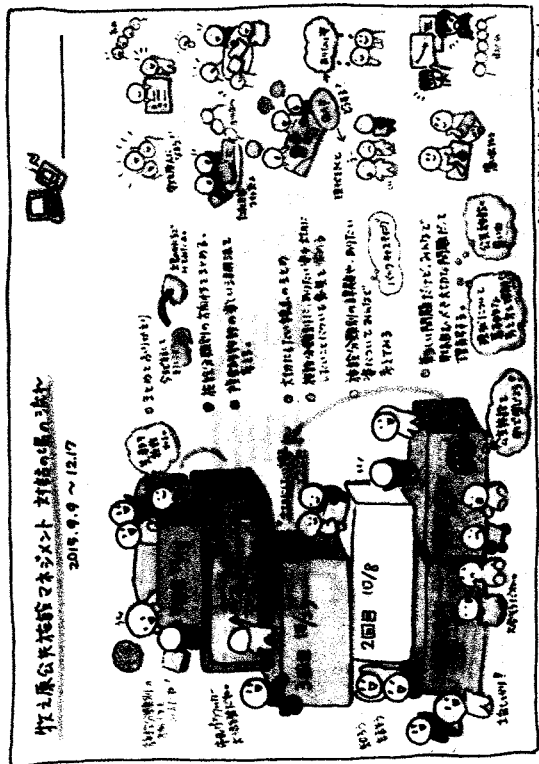
配布資料	66～68
WS1「対話の場のまとめ案に感じたこと、追加したいことを自分達みんなどで進める視点で考える。」	69～71
WS2「対話の場に参加して感じたこと、気付いたこと」	72～75
新聞記事（平成27年12月18日 静岡新聞）	76

# 第1回

日時：平成27年9月9日（水）

午後1時30分～午後4時30分

会場：榛原文化センター 3階会議室



## 1 対話の場とは

### (1) 目的

- ・ 牧之原市は、「対話による協働のまちづくり」を進めています。
- ・ 現在、全国的に深刻化している公共施設の老朽化問題に対して、市民全体で学んで、考えて、取り組んでいきたいと考えています。
- ・ 一度建設した公共施設は、長い年月にわたって使用していくものです。この対話の場では、「20年先の将来を見据えたまちづくりの視点で賢く使う」とをポイントに話し合いを進めていきます。

こんなことへの意見をアイディア出してもらいま

### 【施設分類別の方向性】

20年先の視点で「当面の4年間」において庁舎、学校、保育園、コミュニティ施設などの分類別にどうしていくか

### 【先導的な施設】

20年先の視点で「当面の4年間」に先ず取り掛かる施設

### (2) 根拠

- ・ 牧之原市自治基本条例第14条  
市は、自由な立場でまちづくりについて意見交換できる対話の場を設置するよう努めるものとする。
- ・ 同 第16条  
市長は、市の保有する財産の適正な管理や効率的な運用に努めるものとする。
- ・ 牧之原市政への市民参加に関する条例第5条  
市民参加手続の対象となる事項は、次のとおりとする。  
(4) 広く市民が利用する大規模な公共施設の設置に関する基本計画及びその利用や運営に関する方針の策定又は変更
- ・ 第2次牧之原市総合計画 重点プロジェクト（まち・ひと・しごと総合戦略）  
（公共施設最適化プロジェクト）  
公共施設白書において整理した現状を踏まえ、公共施設マネジメントの将来的な方向性と進め方などを示した基本方針に基づき、公共施設の適正化を進めます。また、施設用途別の課題を整理するとともに、総量の圧縮、長寿命化などの効率的、効果的な施設の維持、管理、運営を図ります。

まとめると こんなこと！

公共施設の問題は、これからの牧之原市にとって重要なこと。  
条例によって設けられる自由な意見交換の場を通じて、みんなできり組もう！

(3) 参加メンバー

氏名	団体名	役職	分類
石間 都代	相良小学校	主幹教諭	
大石 吉彦	牧之原市自治会地区長会	会長	
小田 三成	お話会ボランティア	事務局	行政・文化施設
河辺 昭一	牧之原市労働者福祉協議会	部長	
今野 剛也	牧之原市商工会青年部		
下村 秀恵	みらい子育てネット牧之原		
鈴木 克哉	szki architects	管理人	
名波 光子	牧之原市史料館	経営指導員	
森田 敦士	牧之原市商工会	事務局長	
市川 博夫	NPO 法人 牧之原市体育協会	PTA	
大関 博文	坂部小学校	支部長	
小倉 圭司	静岡県教職員組合 榛原支部		
加藤 雅子	地頭方幼稚園		
高須賀 直子	NEXT まきのはら	主任	学校・体育・子育て施設
高橋 陽子	榛原学園 川崎幼稚園	PTA 副会長	
名波 陽一	相良幼稚園	代表取締役社長	
並木 真	スポーツクラブ エースワゴン	参加者	
武田 道哉	地域の絆づくり事業		
赤堀 康彦	公募		
植田 良子	NEXT まきのはら	副会長	
大井 照恵	牧之原市花の会	参加者	
大川原 純子	地域の絆づくり事業		
加藤 明香	みらい子育てネット牧之原		
神谷 草子	みらい子育てネット牧之原		
木下 和義	牧之原市消防団	副団長	
鈴木 千城	静岡公民館	館長	
山田 真也 (熊本 京子)	YS KIT	代表	
今西 花精利	地蔵おこし協力隊		
大石 芽以	株式会社静岡銀行 榛原支店	事務局長	
大畑 彰弘	社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園		
小俣 徳直	公益社団法人 牧之原市シルバー人材センター		
金子 俊明	福祉施設利用者家族		
栗田 久仁子	牧之原市観光協会	事務局	保健福祉・観光産業施設
栗林 均	社会福祉法人 一半会	理事長	
長倉 廣和	波渡サーフショップ協会	会長	
林 史子 (中村 聡)	株式会社 JTB 中部		
宮川 真一	牧之原市労働者福祉協議会		

※分類別に五十音順で表記。敬称略

(4) 5回の概要とスケジュール

回次	日時及び会場	内容
第1回	9月9日(木) 13:30~16:30	■テーマ 総論に対する共通理解・問題意識の共有 ■プログラム ①公共施設に対する想いの共有 ②全国・牧之原市の現状、公共施設マネジメントの基本的な考え方の説明
	榛原文化センター 3階大会議室	
現地視察	9月29日(火) 13:30~16:30	■テーマ 市内の公共施設(3~4施設)の現地視察 ■プログラム 参加者が現地の状況を自らの目で確認
	市内の公共施設等	
第2回	10月8日(木) 14:30~17:30	■テーマ 各論に対する共通理解・問題意識の共有 ■プログラム ①施設分類別の現状 ②施設分類別の対策
	榛原総合病院 展望レストラン	
第3回	10月23日(金) 13:30~16:30	■テーマ 施設と機能の分離とニーズの満たし方の発想 ■プログラム ①各施設について、どのような目的・ニーズで利用しているのか ②その目的・ニーズを満たすために有効な手法
	相良総合センター 福祉団体活動室	
第4回	11月17日(火) 13:30~16:30	■テーマ 分野別取組の方向性の検討と取組イメージの明確化 ■プログラム ①専門部会で作成した取組の方向性のたたき台を提示し、意見交換 ②組合化の事例を紹介・意見交換し、分野横断的な取組のイメージを共有
	坂部市民センター ホール	
第5回	12月17日(木) 13:30~16:30	■テーマ 取組の方向性の磨き上げと先進的な施設の抽出 ■プログラム ①前回結果を踏まえた試算結果と工程表を提示し、更に意見交換 ②先進的な施設を抽出し、取組の方向性を意見交換
	史料館 2階 ホール	

### 3 基本的な考え方

#### (1) 理念 (3つの最適化を意識して考えよう)

##### 運営の最適化

効率的・効果的な運営

- ① 管理運営コストの最適化
- ② 民間活力を活かした施設運営

例えば…  
民間のノウハウを活かした管理運営を考えよう!

適正な管理

- ① 適正な保全の推進
- ② 公共施設の長寿命化の推進
- ③ 施設機能の向上

例えば…  
必要な施設は長く使えるように長寿命化しよう!

##### 質の最適化

総量の管理

- ① 将来ニーズに合った施設の再配置・統廃合
- ② 施設の複合利用、民間利用
- ③ 近隣市等との連携

例えば…  
施設は減らすけど、複合利用などで賢く使おう!

#### (2) 目標設定 (今回の前提条件)

- ・現在の公共施設の管理費は、年間約6.6億円ですが、今後の改修や更新費用を考えますと、今後40年間の平均で年間約17億円の費用が必要になります。  
⇒このままだと、40年後には、今の施設の40%しか更新できません。
- ・財源確保、費用削減、施設長寿命化は必要ですが、それだけで対応できません。
- ・何の工夫もなく、単純に廃止する公共施設を選んでいいのでしょうか?  
⇒必要性的論いか一歩も大きく維持できない可能性があります。

・先ほどの3つの理念を思い出し、「量を減らすだけでなく、施設の「よ」り豊かで楽しい使い方の工夫」をすることで、質を高めることも必要になります。

- ・20年間で施設の延床面積の総量を20%削減する。
- ・施設の質を高めるためにどれだけ賢く使えるか。

##### 目標

目標と趣し合いの成果の差は、第8回目で試算して検証してみよう!

#### (3) 未来志向で考える

- ・この問題は、牧之原市の将来に繋がる非常に重要な問題です。
- ・20年後、更には40年後に私たちの子や孫世代にツケを残さないためにも、今を生きる私たちがこの問題に真剣に向き合うことが重要です。
- ・そのためには、既成概念や価値観にとらわれず、複合化や官民連携などの新しいアイデアをどんどん考えましょう。未来志向で考えましょう。

### (5) 対話の場の進め方

・男女協働サロンの方式で話し合いを進めていきます。

- ・基本的なスタイルは、①アイズブレイク、②意見の書き出し、③意見を共有して育てる、④意見の絞り込み、⑤発表、⑥投票、⑦講評 の7つの工程です。
- ・5~6人程度のグループで話し合います。
- ・ルールは、自分ばかり話さない、頭から否定しない、楽しい雰囲気、3つです。
- ・各団体の代表者としての意見を言わなくてもいいです。

##### 【サロンのモットー】

気軽に、楽しく、中身濃く

### 2 対話の場の意見の反映

#### (1) 関係する組織

・自治基本条例推進会議 【この会の主催組織】

市長の顧問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申するとともに、必要に応じ建議することができ。

(1) 自治基本条例の適切な運用に関すること。

・行政の公共施設マネジメントの庁内推進会議

推進本部 : 3役と部長相当職

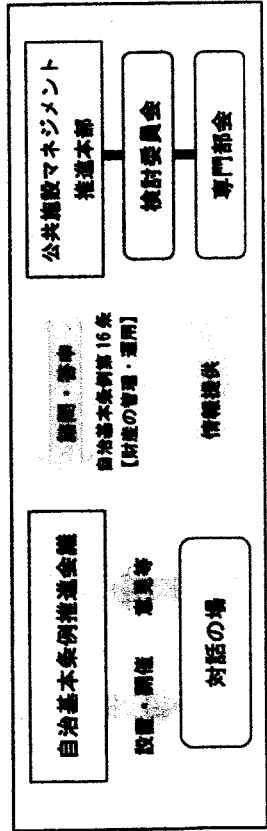
検討委員会 : 施設を所管する課長職

専門部会 : 施設担当者と施設担当者が支援してほしい職員

このメンバーは、対話の場にも参加します。

#### (2) 意見反映の方法

- ・対話の場の意見、行政からの情報提供、自治基本条例推進会議での話し合いの3つの工程を繰り返しながら進めます。【キャッチボール方式での意見交換】
- ・対話の場の意見は、自治基本条例推進会議での話し合いに活用されるとともに、行政における公共施設マネジメント基本計画の検討に活用されます。

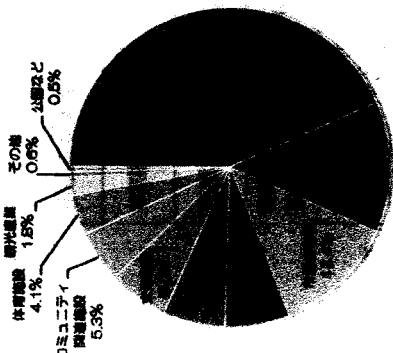


#### 4 建設当時との状況の変化

##### (1) 公共施設の状況（公共施設白書より抜粋）

中が保有する公共建築物は、154施設、延床面積 152,003.9㎡です。施設用途別にみると、学校教育施設が43.4%、行政施設が13.2%、市営住宅等施設が12.4%と多く、全体の約69%を占め、続いて子育て支援施設が6.4%です。

＜施設用途別の建物延床面積の内訳＞

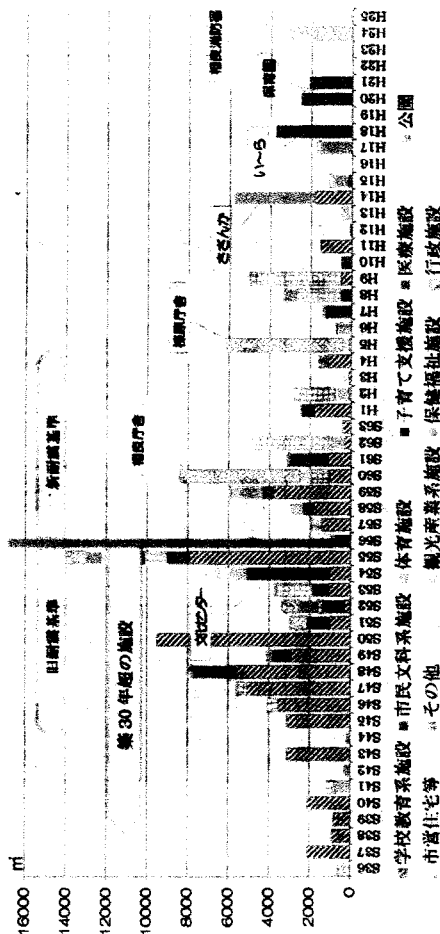


＜施設用途別の保有状況＞

施設用途	施設数	延床面積 (㎡)	割合 (%)
学校教育施設	12	65,911.5	43.4%
行政施設	35	20,077.5	13.2%
市営住宅等施設	19	18,843.1	12.4%
子育て支援施設	13	9,796.7	6.4%
文化施設	12	9,623.4	6.3%
文化施設	4	9,127.3	6.0%
コミュニティ関連	11	8,069.9	5.3%
体育施設	8	6,196.5	4.1%
観光産業振興施設	8	2,690.4	1.8%
その他	13	908.5	0.6%
公園など	19	770.1	0.5%
施設合計	154	152,003.9	100%

また、保有施設を築年度別に見ると、特に昭和40年代後半から昭和60年代にかけて建てられた施設が多いことが分かります。

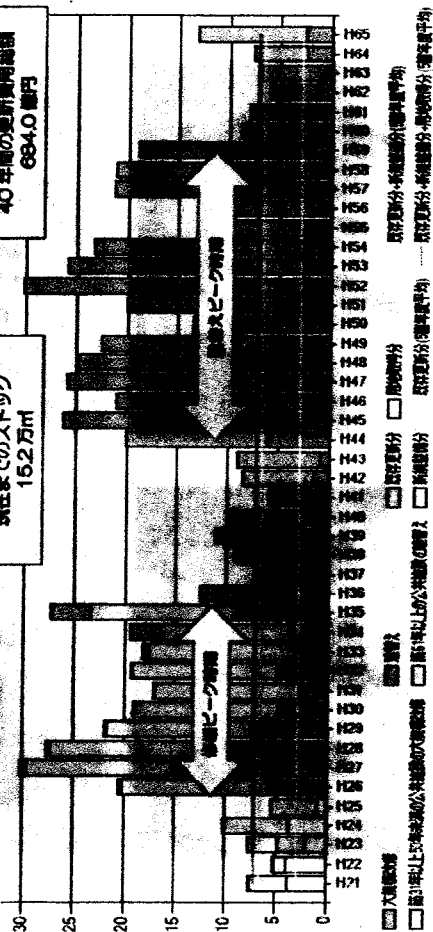
＜保有する施設の築年度別整備状況＞



現在、本市保有する施設の今後40年間の改修・更新費用を一定の条件のもとに試算した結果、その総額は684.0億円となりました。

40年間の平均では1年当たり17.1億円となり、直近5年間の公共建築物に係る投資的経費の平均6.6億円の2.6倍の予算が必要となることがわかりました。

＜保有施設の将来更新費用の概算＞



＜更新費用の試算＞

更新費用の試算	金額 (億円)	倍率
公共施設に係る経費	6.6	2.6倍
更新費用	17.1	
現在までのストック	15.2	
40年間の更新費用総額	684.0	

＜試算の条件＞

試算には、総務省所管の財団法人自治総合センターが公表している「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」の試算方式を基に算定しました。

また、財団法人地域総合整備財団公共施設更新費用試算ソフトを使用しています。

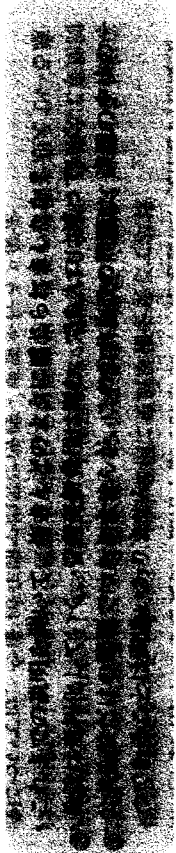
- 耐用年数（標準的な建築物の耐用年数である60年）経過後に、現在と同じ規模・構造で更新すると仮定し、延床面積に更新単価を乗じて試算
- 建築から30年経過後に大規模改修、60年経過後に更新（繕替え）をすると仮定
- 単年度に負担が集中しないように、大規模改修の期間は2年間、繕替え工事期間は3年間とし、平成25年度時点で既に大規模改修・更新の時期を迎えている施設については、今後10年間で均等に改修・更新を行うと仮定

(2) 主要な指標の変化 (20年前とこんなに状況が変わった)

分類	項目	平成7年	平成27年	増減率	判定
人口	総人口 ※H2、H22 国勢調査	51,308	49,019	▲4.5%	↘
	年少人口 (0~14歳)	10,283	6,507	▲36.7%	↓
	生産年齢人口 (15~64歳)	32,909	30,339	▲7.8%	↘
	老年人口 (65歳以上)	8,103	12,116	49.5%	↑
	出生数	538	364	▲32.3%	↓
	死亡数	444	554	24.8%	↑
財政	昼夜間人口比	100.7%	106.3%	5.6%	↗
	住民一人当たりの地方債残高	187,456円	399,372円	213.0%	↑
	住民一人当たりの積立金残高	94,204円	77,210円	▲18.0%	↘
産業	製造品出荷額	2,763億円	7,091億円	256.6%	↑
	年間商品販売額	857億円	581億円	▲32.2%	↓
	観光交流客数	141.5万人	128.6万人	▲9.1%	↘
その他	消防団員数	698人	548人	▲21.5%	↓
	小学校児童数	4,398人	2,407人	▲45.3%	↓
	小学校教員一人当たり児童数	21.6人	14.5人	▲32.9%	↓
	市道の道路突延長	683,271m	751,103m	9.9%	↗

※数値は直近の統計資料から引用しているため、H7、H27のものとは限らない。

5 最後に



さあ、どうしましょうか？

このまちの礎を築いてきた先人たちに恥じない行動を、これから生きる子や孫世代に辨れる行動をとりたいたいとみんな思っているのではないのでしょうか  
世の中は大きく変わっていきます。建物と私たちの考えだけが止まっているなら、今こそ「未来志向で賢く使うことをみんな考えて」ときです。

ということでも対話の場がスタートします。

みんな、気楽に、楽しく、中身の濃い話し合いを進めていきましょう。

6 話し合いの様子



# 公共施設の在り方議論

## 牧之原市自治基本条例推進会議



例 牧之原市自治基本条例推進会議(会長・坂本光司)は9日、市内の公共施設の在り方について議論した。参加者は、市議会議員、市職員のほか、市民代表として多様な市民の意見を聴き取り、今後の公共施設の在り方について議論し、意見がまとまると見られる。写真は、9日の会議の様子。

公共施設の在り方などについて議論した参加者  
— 牧之原市機原文化センター

# 統廃含め 方向性決定へ

市役所庁舎や学校など、公共施設の在り方について議論した。参加者は、市議会議員、市職員のほか、市民代表として多様な市民の意見を聴き取り、今後の公共施設の在り方について議論し、意見がまとまると見られる。写真は、9日の会議の様子。

またまちづくりの視点で、使ったときのポイントなど施設の在り方を議論する。市の担当者が現在の公共施設389棟の管理費が年間約6・6億円に上り、改修や更新費用が今後40年間で平均で年間約17億円にかさむことや、財政状況や人口などの指標、今後20年間で施設の延べ床面積を0・4年度比20%削減を目指すことなどを説明した。これを踏まえ、参加者は今後の公共施設の在り方について議論し、各市区の施設を複数の地区で合算して使う「公共施設を民間にも活用させる」などの意見が出た。

全国	中津川	小笠原	牧之原	意見	採点
1. 公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	40 60 80 30 80 30 30 70 10 20 60 70 10 20 50 20 40 30 60 80 80 50 70 50 10 10 30 70 70 40
2. 公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	30 60 80 50 70 50 10 10 30 70 70 40
3. 公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	公共施設 1. 公共施設 2. 公共施設	30 70 70 40

# 1 概要とスケジュール

## (1) 目的

公共施設マネジメント対話の場の参加者が公共施設の現地を確認し、状況を把握することで、今後の話し合いを円滑に進めることを目的とする。  
市内全ての施設を確認することは困難なため、複合利用や民間利用など「施設を賢く使う」うえで重要なポイントとなる施設を対象とする。

## (2) スケジュール

No	視察先	時間	視察内容
1	市役所棟原庁舎	13:30～13:45	・棟原庁舎周辺施設の配置状況 ・庁舎や文化センターの施設の状態
2	相良小学校	14:00～14:40	・小学校施設の状況 ・相良小学校の施設利用の状況
3	市役所相良庁舎	14:50～15:20	・相良庁舎の持つ機能 ・相良庁舎周辺施設の配置状況
4	牧之原市史料館	15:20～15:35	・史料館の機能 ・史料館の施設の状態
5	川崎幼稚園	15:50～16:30	・認定こども園の概要 ・子育て支援センターの機能

## (3) 視察のポイント

今回の視察先は、大きく3つの分類です。  
 ○旧棟原、相良の中心にある行政機能を持つ施設  
 ○全体の4割を占める学校施設  
 ○民間の認定子ども園（幼保一体型）施設

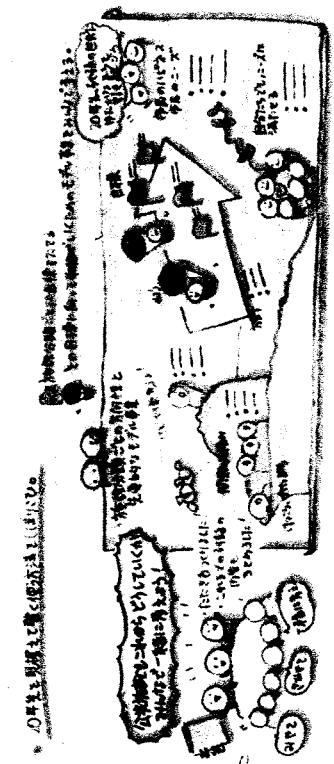
現場を見て、課題を  
肌で感じながら考え  
ましょう！

行政機能の効率よい配置、学校施設の建築当時との状況の変化、民間による公共機能の運営、施設の複合化などを考える際の参考としてください。

# 現地視察

日時：平成27年9月29日（火）  
午後1時30分～午後5時

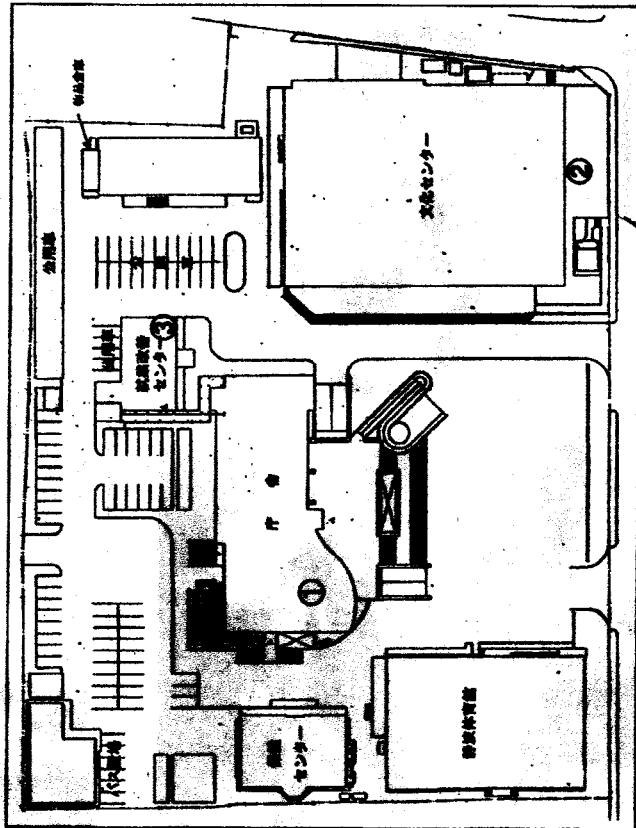
会場：市役所棟原庁舎、相良庁舎  
相良小学校、史料館  
(学)棟原学園 川崎幼稚園





2 視察先の概要

(1) 榎原庁舎の周辺施設

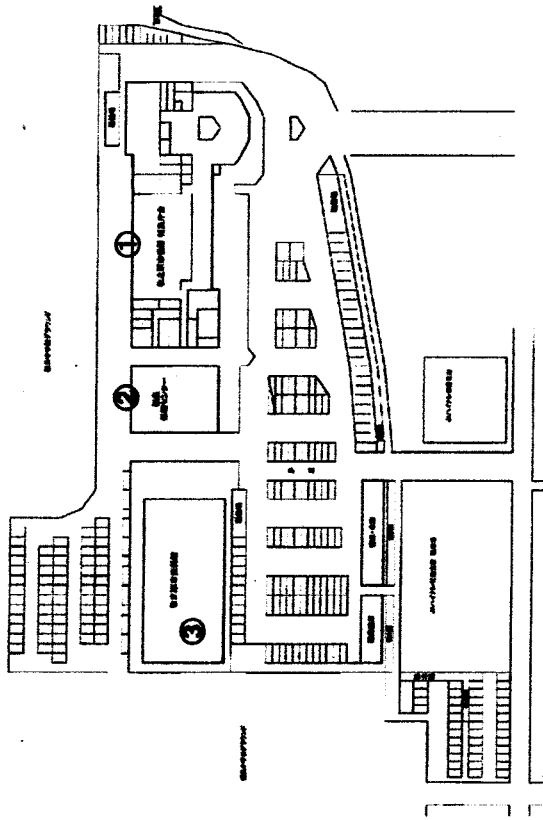


○施設の利用状況

No	名称	機能	施設の利用状況等
1	榎原庁舎	市長室、副市長室、総務部、政策協働部 市民生活部 (市民課、税務課、納税課) 健康福祉部 (高齢者福祉課)	平成 6 年建築 外壁の修繕を 実施中
2	文化センター	健康福祉部 (社会福祉課) ※1 教育文化部 (社会教育課) 図書館、貸会議室、ホール ※2	昭和 54 年建築 平成 24 年会館棟 の耐震補強実施
-	総合健康福祉センター	健康福祉部 (健康推進課、子ども子育て課) 貸会議室、子育て支援センター、ボウリング室等	平成 14 年建築
3	就業改善センター	建設部 (木造課) 市民相談センター	昭和 52 年建築

※1 現在、福祉事務所 (社会福祉法の規定により市に設置を義務化) として利用  
※2 ホール棟は、施設の老朽化や耐震不足のため平成 24 年に閉鎖

(2) 相良庁舎の周辺施設



○施設の利用状況

No	名称	機能	施設の利用状況等
1	相良庁舎	議会、教育文化部、産業経済部、 建設部 (建設管理課、建設課、都市計画課) 市民生活部 (相良窓口課、環境課)、図書室	昭和 60 年建築
2	相良保健センター ※1	健康福祉部 (健康推進課) 栄養指導室、集団指導室	昭和 60 年建築
3	史料館 ※2	歴史資料の展示、ホール	昭和 56 年建築

※市内に居住し、健康づくりをしようとする者が使用できる施設  
※耐震性が不足、1階は歴史史料を展示しているが空調機能が無い。

(3) 前回のキーワード

「20 年先の将来を見据えたまちづくりの視点で賢く使う」  
・ 既成概念や価値観にとらわれず、未来志向で考える。  
・ 施設の総量は減らすけど、工夫して大事な機能を残す。  
・ 複合化や官民連携などの新しいアイデアを考える。

こんなことを意識  
して施設を構築し  
てください。

●視察の様子



所長中の結原文化センター  
ホール前の前に集合  
新館のポイントを確認して出発



児童小学校では、空き  
教室を特別支援教室  
や家庭学習クラブ  
などに活用



相模庁会で現場を見学、  
同じような施設が相模  
庁会にもある。



史料館は、旧相模町民の選い  
が込められた施設  
老朽化が進んでいる。



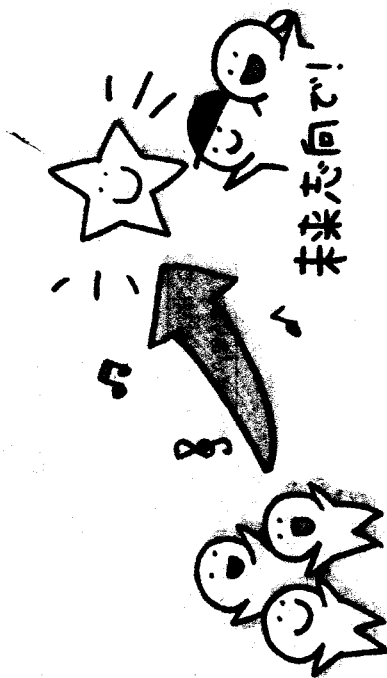
幼稚園の認定子ども園に子育て  
支援センターの機能も統合化  
民間運営、児童館館のヒントを得た。

【西尾さんから購評】

- ・何十年も経つ間に、建物の使い方が大きく変わっている。
- ※小学校の空き教室の活用、給食センターの資料館への転用
- ・保育や子育ては民間に任せ、新例にとらわれずに思い切った発想で考える。
- ・何十年先を見通した賢い使い方を考えよう。

# 第2回

日時：平成27年10月8日（木）  
午後2時30分～午後5時30分  
会場：榎原総合病院 展望レストラン



## 1 進め方

### (1) 分野別のありたい姿を考える

- ・現状や現在から考えても思い切った発想は出てこない。
- ・最初に分野別にありたい姿をグループで話し合う。
- ⇒目指す目標になる。

前回のポイントを  
忘れずに!

### (2) 現状を聞いて、感じたこと、思ったことを意見交換

- ・市役所の各施設担当から現状の説明を聞く。
- ・そのうえで感じたことや思ったことを意見交換する。

⇒ (2) で話したあたり姿とのギャップが今後の課題や取組内容になる。

No.	名称	分類①	分類②	分類③
1	行政・文化施設	庁舎	文化施設	
2	学校・体育・子育て施設	学校	体育施設	保育園・幼稚園
3	コミュニティ・公園施設	コミュニティ施設	公民館	公園
4	保健福祉・観光産業施設	保健福祉施設	観光施設	

※市の施設担当から分類①～③の施設を部会毎に説明を聞く。  
説明内容は、施設の利用状況と老朽化の状況（各3～5分程度）

## 2 話し合いの様子



【写真1】 現場視察の振り返り【大切にしたいポイントとして「まちづくりを考えよう」などの意見が出た。

写真1回の共通ポイントに付け加えたこと

第2回対話の場 大切にしたい視点への追加意見

グループ	意見	位置付け	新規	備考
1	本来なら庁舎や文化施設は1カ所になるという	2-2	○	各論へ
	庁舎の統合は長い年月で市民対話で進める	4-3		各論へ
	実行力(公益性=交通の悪さとかを逆に利用する)	5-3	○	
	現状~今後、耐震面などで使用可能な施設なのか?	4-1		
	安全な場所にあった方がいい	1-3		
	1000年 scale 津波は? 高台?	1-3		
	市の構想 高台開発 住宅	5-1	○	
	それぞれの建物には長い歴史があり夢があります。	5-2	○	
	地域の人の思い出を大切にしたい残すものは残していく	2-1	○	
	こわすのにも金かかる 賢くコンバージョン	2-1		
2	施設を大切に使う	4-1	○	
	現状を知らないとい今後活用方法につながらない	1-1		
	高度成長期の常識と21世紀の常識の比較	5-3		
	法的ハードル=税金や国の法改正	5-1	○	
	想い・歴史・工夫	4-1		
	各々の公共施設の目的は? 目的が揃っていることもあるかも?	4-3		
	一時的な不効率	4-3	○	
	動機に対する共感、理解	4-3		
	あるモノがなくなつた時の対応策	1-1		
	計画を5, 10, 20と中長期としての進め方	4-3	○	
3	歩みよりの相互扶助感	1-1		
	魅力あるものを創出すること(カッコいいもの)	2-1		
	デザイン性はやっぱり大事なかな(お金かかる?)	4-2		
	施設への愛着を形成する工夫を	1-1		
	市民の声をよく聞く	1-3		
	幸福観て何ですか?(施設にどれぐらい左右されるもの?)	4-1	○	
	いつまでにどんな順番で見直すのか	4-1		
	我儘ばかりではなく、うれしいことと悲しいことを見極める	4-1		
	施設の利用者数は出ているが、どんな人が使っているか? 知ることであらたな側面が見えてくるかも	1-3		
	草社会・大人は距離はそんなに抵抗ない? (高齢者と子どもの施設は近いところ、コミュニティバス)	4-1		
1人でも使っていればムダではない。	1-3	○	各論へ	
ムダでは? (1人の使用のためにかかる税金を考えると、かえって不公平)→民間なら開店・倒産	2-2			

4	利用者多数OK! 利用者少数NG ペイできない	2-2	○	
	施設が埋に溢れるものが多い	5-1	○	
	情報や結果 メインはR100だけ	5-1	○	
	"賢く"につける	2	○	
	"賢く" 利用者、補助金に訴える見直し	2-2	○	
	(集約の中で...) 3歳以下の保育環境 施設の不足	1-3		各論へ
	市民感情を大切に	4-2	○	
	施設分譲ごと考えるのではなく、全体をどう考える	5-1	○	
	対話する相手の(専門的)知識や理解を引き出すような話し合いを心がける	4-3	○	
	自分や家族、所属する組織の利害がなく、市民全体の利益を考へる	5-2	○	
5	少数者(外国人、市外、県外からの転入者)の立場、機嫌に配慮した計画を打ち出す姿勢	4-3		
	リサーチ・分析が必要	2-3	○	
	要望、ニーズが明確・決意・利用される施設	4-2		
	民間の方も含めて(都市と比べて..)	3-1		
	(にこの参加者はわかるけど)市の現状の周知をする必要がある	4-1		
	人生の知恵の共有	4-2	○	
	子育てだけでいいの? 子育ての先輩からアドバイスももらえるよ	1-3	○	
	うな..世代間の交流			
	行政は何でもそう! スピード感!	1-2		
	出来る限り、利用者(地域・コミュニティ)で維持管理・修理	3-2		
6	年配者と子供の交流になるような場、施設が欲しい	1-3	○	
	未来志向に立つ	1		
	「市民力」を生かす 窓口	3-1		
	親子で集まる一さらにプラスした集まりに広げる	1-3	○	
	市民のみさんの才能が広がって進化していくような人事をしてみよう! 草の根的に。	4-3	○	
	量は減らす、でも質は上げる。			
	PM 進める→緊急より充実度UPに!!	2-3	○	
	みんなが大切に使える施設(自分のものとして使えるようなもの)	2-1		
	学校の中へ市民がたずねて行く、かわっていく。			
	そうじ、草取りなど	3-2		各論へ
まず1つやってみよう。ちよつと目立つこと! ?どんな? ! 学校をちよつとパラダイスにしてみたい	5-3	○	各論へ	
利用の為にキヨリ、利用できる回数→我儘も必要 情報発信大切	4-1	○		
まわりの市町村からみても、お? ! と思うような使い方をしたい				
から民営+市営でやるんしたい	5-3	○		

7	長期的ってどれぐらいのこと？	質問	
	大切なポイント…街のデザインを思いつつ、1つ1つに手を付けること	5-1	○
	今まで出来なかった理由？→進む方法 行政が出来なかつたなら出来るところへ進す	2-3	
	人口を増やす。年間を通して気候が良いを売りにする	1-3	
	誰と？ WITH	5-1	
	大事に使うこと。使い方。補給を通じての教育普及→意識	質問	
	施設を使って「何」をやりたいのか？「何」に使いたいのか？	2-1	○
	楽しく利用する	4-1	○
	メンテナンス→コスト	2-3	
	長期的な視点 誰の為に施設が長く考える	2-2	
	未来志向 40年後について 40年後はもう100才。想像してみたいが…健康でいたい！！	1	
	先を見た計画 高齢者福祉施設にはスペース・機能に余力を保持した計画。子供・高齢者の利用する施設の防災機能の付加は必要	1-3	○
	ワクワク感！→後ろ向きではない視点で！！	1-1	
自分たちで…利用団体でも話し合いに参加 (施設者)	3-1	○	
「自分の健康は自分で守る」視点で、施設利用する人は有料 (金額は市民で考える)	3-2		
建物の簡単な修繕などは行政へお願いするだけでなく自分達でできることはある。(すぐにできる。低コストでできる)	3-2		
賢く使う 日々の手入れやそうじなどで建物への愛着→大切に使うことにつながる	2-1	○	
賢く使おう (楽しい財政、施設の新しい用途や価値の発見)	2-1	○	
情報発信 自分たちで工夫 が見	4-1		
情報の共有→新しい使い方が生まれてくるのでは！	4-1		
優先順位→一歩中大型でも	1-3	○	

第2回対話の場 分類毎のありたい姿と現状を聞いたギャップ

項目	分類	ありたい姿	現状とのギャップ・感じたこと
庁舎	施設	庁舎は一つ	庁舎の統合の声が聞こえるが、物理的に入るものか？ 新しい庁舎構想 全職員が庁舎1つに統合することは可能？ 庁舎の統合はやるなら早い方が新設しかない？長期的に見て！ この階高台移転を考えたら…どうか？ 高台階との運動はどうなのか？ 逆発進 廃止して良い施設は…？ せめて借社だけでも 足場不整の建物にすればいいのに
		かっこよい	キャットウォークついたらいいのに
		庁舎内がクールな事務所になっている	天井とつばらいい設備再新しやす
		トイレが広くてきれい	天井とつばらいい設備再新しやす
		高齢者・障害者に優しい施設	天井とつばらいい設備再新しやす
		エレベーター・ユニバーサルデザイン	天井とつばらいい設備再新しやす
		福祉的な視点も失わない	天井とつばらいい設備再新しやす
		高齢者への洗練	天井とつばらいい設備再新しやす
		CAFÉのように気軽に人が行ける施設(庁舎)	天井とつばらいい設備再新しやす
		庁舎の中が分かりやすく配置されている。(急分け、道線がわかりやすい)	天井とつばらいい設備再新しやす
文化施設 (こんな文化施設がほしい)	ホール施設	複合施設	複合施設
		専門施設	専門施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
ホール施設	ホール施設	複合施設	複合施設
		専門施設	専門施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設
		ホール施設	ホール施設

史料館	年表のように毎年内容が変わる史料館 人が集まるイベントが多いところに史料館を置いたほうが、多くの人にみてもらえるのでは 歴史施設は目で見て確認する事が大切です。(展示は必要) 人々が歴史性を大事にしている 価値ある史料の保存が大切 御前崎や吉田を越えたい...	史料館	最近限の支出での改修・改良 津波をどう考えるか？文化施設の多くは淡水エリア
その他	①グループの整理 牧之原市の一番の問題 分庁の子アリットあるのに... ⇒今のままなのでは！ 職員は入れない、修繕費がかかる、 相良 vs 橋原 「いつ」10年、20年... 「どのよう」に「計画を市民に」 表現できれば市の中心の歴史 ⇒ 次の段階へ行けるはず		
将来に向けた視点	40年後 コンバクト(移動のコスト)緩和 ベストなところはどこだ！市の中心を明確にする。シンボル 効率性は重要		
市の中心地をつくる	効率性は重要 統合するものはする。大切に するものは大切に。メリ ハリをつける。 庁舎の統合 使いやすさ 安 全性 庁舎は1つに集約。出張所を 他に設ける 1つの庁舎の中にひととおり ある	集約 メリハリ	
高台への移転	市の総合計画に基づき、高台開 発と共に庁舎は市の高台に移す 文化施設は津波のこない高 台で庁舎と同じ所へ(財政が 豊かになつたら)	効率性 安心安全	防災 安心安全
夢	魅力あるまちづくり 独自性(色々なアリットを活 かして) 他市もうちやむもの(使い方も) 残っているものもあれば、なく なっているものもある... 変化するとしたら施設ではな く、人の意識、使い方、世の 中の常識等 情報革命が進んで社会が変 わっている	魅力	魅力 ①グループのまとめ 計画的に財政を上手く運用し、 「庁舎統合を！」 ・民間に買す、建す、修繕するのが、 建てるのが ・高台、どれくらいかかる、その後の メンテナンス、空港、第2東名
これらの社 会			②グループのまとめ 細論 運用計画を丁寧に。 批判に答えられるように準備する

大事にし たい	子どもが元気よ デザイン性 センスの良さ 年齢関係なくみんなが仲良し				
学校、体育、子育て施設					
項目	分類	ありたい姿 内容	分類	現状とのギャップ・懸念したこと 内容	
学校、体 育、子育 ての全体 像	複合化	地震や津波の心配のない 施設 子どもと地域の人がふれあ える施設(子ども・高齢者、園 児・小学生)があるといいな 学校と市民のための体育 施設が一体化し、大規模 な複合施設に 職場と学校と体育館が一体 化した、同じ敷地にある施設 地域の人も使う施設との 複合化。若い人、高齢者の 交流の場	人口対 策	人口が増えれば、増えたとときの対応は？ 若く人口は減る。二の舞を踏まない様 に施設を考える。 施設を壊すのはいくらぐらいかかるの か？(そのまましておくのは危険) 建て替え時期をずらせないか？	
		地域	小中学校が子供が使うだ けではない複合(デイサー ビスなど) ポランティア団体修繕屋	施設の 廃止	施設を減らすにはある程度の強制か も... どの施設も古くなって、使用するか使用 をやめるのかの考え時 市独自の基準づくり(委員会)地権者 新しい施設も欲しいが、安全対策など お金をかけてもいいのでは？
		夢と希望	IT 社会に対応できる学習 ができる 屋内プール、ナイター設 備付の芝生のグラウンド のある学校 様々なスポーツができる 施設	安全対 策	「安全」に対してお金を使っていくらう！ 体育施設の老朽化への対応は緊急の 課題。市民の声以上に市民の安全が大 事。問題が重要どころ？ 事故が起きたらそれ以上にお金か... 事故のリスクはないのか？(体育施設の 老朽化) ニーズを調くのも必要だけど、金が必要 なニーズなの？ 学区を更(坂1を縮小)一地域のコミュ ニティが壊れる 坂小・勝小統合なら新施設 小学校は統合が必要
学校施設	複合、統合	複合施設 小中学校は大 統合+幼保	ニース 学校統 合	学校の適正規模って本当はどの位？2クラ 児童生	
規模	学校1学年2~3クラスの				

子どもがいる学校	徒の規模	スガベスト?→分析・リサーチが必要
		基準を誰が決めるのか? (委員会が必要) 市民を奮めて
		児童・生徒の人数それぞれに良い悪い面
移動手段	移動手段	交通の便が良くなる
移動バス		
少子化 地域の方の教育への関心↑ひとりひとりの子どもにも多くの人の目がいきとどく	地域との関わり	環境の声を聞く
子育てと学校の距離が近い		
学校、児童館以外の子ども遊び場がある		
	空き施設の利用	「空き教室の有効活用」をしたいが、誰が率先してやっていくのか? (学校側? 市側?)
		児童数に1/2 空き教室有効活用
		地域のままだと良くない(雑草、ガラスが割れたら→保険費がかかる)
	予算	新しく建てるも壊すもお金がかかる→財政とのからみがある
		住民のニーズと建て替え予算(リニューアル)のジレンマ
		予算をつける→人口増 稼収アップ
その他		学校のプールばまどめる
		小学校のプールを一本化やエースワン・B&Oなど使用
	プール施設	学校プール×→稼収がでなくなる→民間へ委託
		学校のプールは閉鎖して民間から一時借借りる?
		使えない(使わない)施設→そのまま放置
		リニューアル、プールは土を入れて敷
	その他	プールをワーク所にまどめ、バスで運
		水はけの問題→学校の後の傾斜りた方がコストが安い
体育施設 + α	体育館、プール、公園、グラウンドなど複合施設	シーサイドプールは閉鎖
	複合施設 公園、図書館	シーサイドP 年令 30才 営業はムリ? 閉める
	スポーツ大会(園遊)の誘致ができる	嵐の離れた子を一様に遊ばせるプールがなくなる

子育て施設	子育て施設	大きい体育館、グラウンド、プール、スポーツに集める色々なスポーツに触れることができる	老朽化対策	古いままだと利用もできない。リフォーム
		市民がわかりやすく1ヶ所で全て終わる		老朽化→事故の危険はないのか? 体育施設の老朽化への対策、関係の課題。待たない!
			施設の更新	どのぐらいもつか知りたい
				建て替えなら時期をずらす
				坂井保育園民営化(隣保のみ古い、どうなる?)
	子育て施設		子育て施設	新築化した施設は当然使えそ古い(わりきれない)
				体育館は地元じゃなくてもいいと思う(観が揃っている地域)

## コミュニティ・公園施設

項目	分類	ありたい姿	現状とのギャップ・感じたこと
		内容	内容
		トイレと食事の環境	施設に店舗も併設してみる。お母さん手作りの焼き、野菜など
		図書館の充実(本をたくさんそろえる)	コミュニティ施設を美術館やら展示室やらして作品も売る
		子ども・高齢者の方が使いやすい施設	
		コミュニティ施設もつといる	
		若い人が利用している	
		施設になれば..	
		使える公園(いろいろな世代の人が使える)	点在している公園をまとめて、素敵な公園を1つつくる
コミュニティ公園の全体像			目玉公園を1つつくって、あとは地区の予算を出しつつ自由にやって区の特長をオリジナリティを出した公園を作ってもらう。運営してもら
		企業にも協力	今在るものを市長に閉鎖にする
			公共施設をアピールする
			公園に関する情報をもっと流してほしい
			マネジメントしたものを発表・公表する
			維持するための現状を広く伝えていく
			どこに聞けばよいかわかるように
			利用者の話をもっと聞きたい
			利用者の意見

0才→40才 20才→60才 40才→80才、どの時の誰 もが使用可能であること 現在のものが40年経過した と感じない状態であること、 木製の遊具やらがみなさ んの手でどんどん増えて 成長しつづけている公園 40年間月1ポランティアつづ けたら、すてきなコミュニティ ができています。と思っています。	維持管理	常駐必要?	常駐必要?
		人口減少 策	人口減少に伴うコミュニティ の統合化 コミュニティの実情にあつ た 人口にみあった必要数に
コミュニティ施設	防災対策	防災拠点としても安全な 地域の農作物も売ってい て、若い母たちが購入して いく所 イベントが多い	⑥グループの「コミュニティ公民館」まとめ ・コミュニティ施設の旧町 ⇒ 牧之原市で統一しちゃう！ ・道いが分がりにくい！！ ・名前も子供にも分かるよう変えてみる！ ・多岐み寄る
	出合いの 場	日なたほっこ 過ごし方は 人それぞれでも、層増所 になるような 世代間交流ができる 子どもからお年寄りまで集 まる ママ友が安心できる場所 公園に図書館と文化施設 が一軒にあるといいなあ 敷地はなく、質を高める。 幼稚園や学校のように体 験型(教育)の施設 建物を通した後の土地を 利用して花畑をつくる	公民館の 充実 公園マップ作成 場所の共有 公園を大切にしたい 緑を配置してみる 敷より買 ポランティアで自耕「匠」を募集してみる 借地公園を減らしたらどうか 公園の土地を買い上げ 各公園の経費の適正化 経費の 適正化 整備の 条件
公園施設	公園有効 利用		公民館の 整備 条件 市民参加型の花壇 展示 する等

遊遊しやすい場	敷設コースはここにしよう 遊でできた広場になってほしい トイレも付けてね 遊具がいっぱいある場所 長い時間居られる 1日いて楽しい 雨の日でも思いっきりあそ んで過ごせる所 無料で過ごせる 遊びの場を作りたい。遊 具をたくさん揃えたい。遊 ばれる場にしたたい。 展示会・講演等をたくさん やってほしい 毎日人が来るような楽し いところ 共存 得意を増やして香 手はお揃い そこに行けば色々な事を すべて安全で子どもがあ ふれている場 開放的 公園 子ども達が休日に なる事を楽しみにできる様 な施設 子供を中心にみんな行く のが楽しみな場所 さそい合える話しやすい 場所。新しい人もともと の人も うっかり公園で美術展 になってほしいね。 牧之原市どこでもだいた いピクニックできるね。施 設	目標	秋之原市の中央公園をつくる(シンボル 的などころ) 最先順位(整備の)をつけてもいいのでは？ ずっと秋之原市に住み続けたいと思うた めに...
	楽しみ	⑥グループの「公園」まとめ ・理想と現実のギャップ 使えるように！ ・38か所たくさんある！（増地は4か所） ⇒減らして充実 ・公園にトイレがない。 ・知っている公園が少ない。 ・管理費用を知りたい。	住環境と の関係 採算性 みんな 工夫 「着でやろう」という意識がほしい

保健福祉・観光産業施設

項目	分類	内容	現状とのギャップ・感じたこと
全般	公共交通	施設利用の向上のために コミュニティバスの整備が されていると嬉しい	アクセス の多様 性 東名・京浜 150号 アkses改善 150 号進む！



観光産業施設	工夫する 魅力づくり 長所・短所 ともに可視 化	観光施設ルートと福祉施設のルートの整備の必要性を感じる	観光施設ルートと福祉施設のルートの整備の必要性を感じる
		牧之原観光タウンスとかもっとPRして知ってもらおう！	牧之原観光タウンスとかもっとPRして知ってもらおう！
		各施設が宿泊施設と変わって宿泊する客が増えている状態	まずではできるところからやってみる。失敗してもいい...
		いつでも滞り合っている(全ての施設)	今ある施設→単発ではなく一つにつなげる
		外貨(観光マナー)の獲得!	他にない施設 大切にしたい
		全て告知! 集客・利用・費用・利便性	「牧之原」を強調するツアー
		情報価値	パワーポイントPR
		課題を可視化	告知の必要性
		維持管理経費の適正化	施設アビリティが少ない?
		複合化	観光ナビ? のようなもの。市の観光施設をナビでつなげるようなサービス
海を活かす	観光客がたくさん	課題の可視化(課題で分ける)	課題の可視化
	海水浴が稼いでいる	稼働率が高い施設が多い	稼働率が高い施設が多い
	海水浴客が増えて海の家も増え、海沿いに店も増えている	修繕費が今以上にかかってくる	修繕費が今以上にかかってくる
	遊ぶ・泊まる・見る ゆったりとできる町に。(そうだった施設が豊った)	収益→維持費	収益→維持費
	海水浴シーズン以外に目的を持って人が来ている施設であってほしい	「無料」って本業にいいの? 利用料も検討?	「無料」って本業にいいの? 利用料も検討?
	①ピーチクリーン ②ジェットスキー イベント施設開設	複合できる施設を探す	複合できる施設を探す
	いろいろなビジネス(集客)	ありえないような複合化を考えてみる。学校一飲み屋とか。	ありえないような複合化を考えてみる。学校一飲み屋とか。

観光産業施設	を試すことができる	観光センターより...	観光センター
		砂浜が増えている	観光センター
		昔の砂浜にもとるとうれしい。子供たち(浜で遊ぶ姿)をみたい	観光センター
		キレイな浜が湧いていてほしい	観光センター
		海辺を演出するマリナーハウスや遊歩道の乗遊なの!	観光センター
		海がながめられる道路の整備	観光センター
		海をきれいに集つサーフィン	観光センター
		通水シャワーが出ていますと冬も	観光センター
		ライフセイビングは1つにまとめる。交流もできいいよ。	ライフセイビングは1つにまとめる。交流もできいいよ。
		ライフセイビングハウス	ライフセイビングハウス
観光センター	ライフセイビングハウス	ライフセイビングハウスはもつと他の使い道がありそう	ライフセイビングハウスはもつと他の使い道がありそう
		ライフセイビングハウス 冬場の利用→ウィンタースーフィン	ライフセイビングハウス 冬場の利用→ウィンタースーフィン
		ライフセイビングハウス とても大切な施設だが、年間で2ヶ月程度しか使われていない→例が活用	ライフセイビングハウス とても大切な施設だが、年間で2ヶ月程度しか使われていない→例が活用
		ライフセイビングハウス 民間利用ではダメなのか?	ライフセイビングハウス 民間利用ではダメなのか?
		速に民間を利用したほうが?	速に民間を利用したほうが?
		観光センター2Fの利用が少ない。他の利用促進	観光センター2Fの利用が少ない。他の利用促進
		観光案内センター 2F 会議室もつたない	観光案内センター 2F 会議室もつたない
		塩作り 教育園の利用も必要性はあると思う	塩作り 教育園の利用も必要性はあると思う
		塩作り もつと活用できたら! 塩をつくれる人がいたら利用増えるかな	塩作り もつと活用できたら! 塩をつくれる人がいたら利用増えるかな
		塩作り できる人がいなくなるとますます塩作りが難しくなる。後継者がほしい	塩作り できる人がいなくなるとますます塩作りが難しくなる。後継者がほしい
塩づくり 体験	塩づくり 体験	塩作り できる人の養成→利用増→アビリティ	塩作り できる人の養成→利用増→アビリティ
		塩作り 学校の体験とかでアビリティしては?	塩作り 学校の体験とかでアビリティしては?
		牧之原茶漬×塩づくり体験	牧之原茶漬×塩づくり体験
		塩づくり施設の近くに牧之原茶漬を食べられる所	塩づくり施設の近くに牧之原茶漬を食べられる所
		子ども生まれ石は他の七不思議と関連したキャンペーンを	子ども生まれ石は他の七不思議と関連したキャンペーンを

平成27年10月9日(金) 静岡新聞 朝刊

# 理想の公共施設実現へ

## 牧之原市民50人が議論

牧之原市自治基本条例推進協議(会長・坂本光司法政大本学院教授)は8日、今後の市内の公共施設の在り方を市民に議論する第2回目の委員会を同市柳江で開いた。市民約50人が参加し、各施設の20年後の環境について話し合った。

会合では、公共施設を行政・学校・体育・子育て・コミュニティ・公園・保健福祉・観光産業の4つに分け、参加者はグループで議論した。「幅広い世の活用」「一つの施設に多目的用途を」などの意見が寄せられた。その後、市の担当者が各施設の

会合が年度内に実施する「公共施設マネジメント基本計画」に関して、同協議に諮問した際、留意事項として多様な市民の意見を踏まえるよう求めた。現在は年度内に現在の公共施設300棟の20年後の在り方について議論する。14年度比20%削減を目指している。

子生まれ石必要?使う人いないなら... 熟すならもっとPRして観光スポットに 必要に照準? (休憩所はいいから?)			
温泉との一線の利用ウオーキングとか 子生まれ石×温泉(バススポット)ウォ ーキングなど健康をテーマに。			
相良活き生きセンターの利用が増えた らいいな	既存施設の活用	老人施設の充実(市の取 益にもよる) 施設じゃなくても場所とはと われない家でもレンタルスペース でも	介護・老人
介護施設 うたり このままではさそう	制度	特定の子連れより幅広い層もが 集まれる、使える場所 おばあちゃん×子育てママ・ 子ども 一緒にワイワイ。お ばあちゃんとの知恵ブーム	子ども~老 人
高齢者・介護 制度(利用する)複雑すぎ る 簡単に利用できない?	-	世代の変化による高齢者 の質に合わせた福祉産業	今あるもの 活かす
	高齢化	高齢者人口 全体数の変化なしはびっく りした	
	行政の 関わり	デイサービス 民間運営 利用者・高齢者が実面で 利用している	
	-		

1 今日の進め方

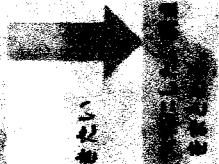
(1) 前回の振り返り

- ・前回の内容は、分野別の話し合いを進めるために非常に重要な内容
- ・前回の内容をグループでもう一度話し、内容を思い出す。

(2) これまで話した大切にしたい視点のまとめ

- ・第1回の共感ポイントに第2回で付け足した意見を基に「大切にしたい視点」をまとめる。
- ・事務局がまとめた案に対して、感想、付け加えたいこと、聞きたいことなどをグループで話して発表する。
- ⇒ 今後の20年間における大切にしたい視点がまとまる。

前回のポイントを忘れずに!



【本日の資料のまとめ方の例：4頁以降】

大項目	本論傾向	長期的視点 幸福観の再定義	意見	プログラム 番号
			長期的視野で考える必要性 幸福度は施設の敷じやない!!	4①
				5②

※中分類を大切にしたい視点、小分類をその内容としてまとめる。

(3) 分野別のありたい姿に関する意見を深める。

- ・前回の意見の中から大事にしたい意見をグループで3~5つ選ぶ。
- ・その意見を文書化し、全体で投票する。
- ⇒ 分野別のありたい姿の意見が深まるとともに、参加者の関心の傾向を見る。

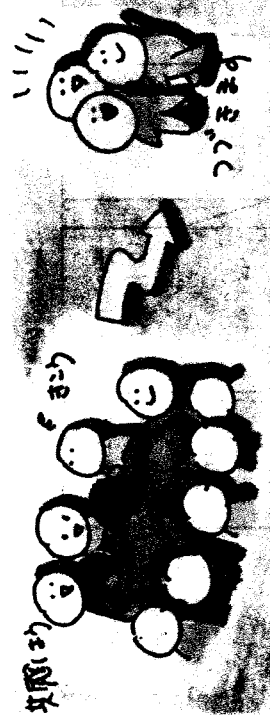
1	行政・文化施設	1・2
2	学校・体育・子育て施設	3・4
3	コミュニティ・公園施設	5・6
4	保健福祉・観光産業施設	7・8

第3回目は、対話の場の中間地点です。大切にしたい視点をしっかりとまとめるとともに、分類別の意見を深め、第4回、第5回でのまとめに繋がります。

第3回で更に具体的に話し合おう。

# 第3回

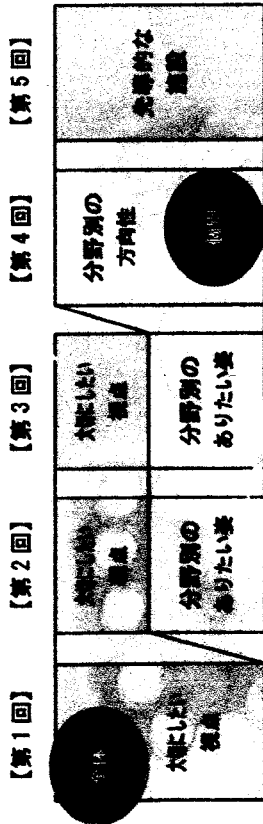
日時：平成27年10月23日（金）  
午後1時30分～午後4時30分  
会場：相良総合センター ガレリア



## 2 対話の場のプロセスと計画の構造

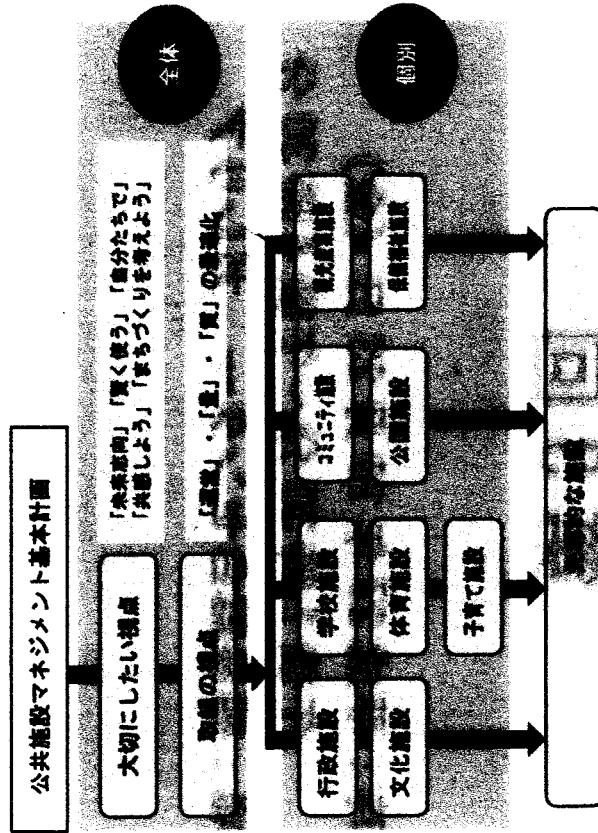
マネジメント全体に広げる  
共通の視点

### (1) 全5回のプロセス



### (2) 計画の構造

個別の分野の視点  
(大切にしたい視点を基盤)



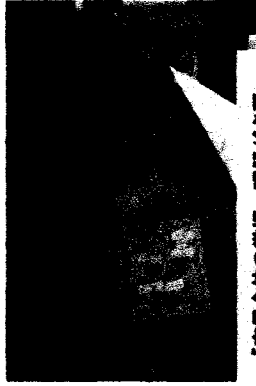
大切にしたい視点をベースに  
分野別の方向性に沿って、具体的に取り纏む施設

全5回の話し合いの結果は、このように計画に反映されます。  
大切にしたい視点は、分野別の方向性を話し合う際のポイントになります。

## 3 話し合いの様子

大切にしたい視点

- ①未来志向、②賢く使う、③集分たちで、④共感しよう、⑤まちづくりを考えようの5つの視点はどうですか？



「計画全体の覚悟・理解が必要」などの意見が出た。

分野別のありたい姿



計画の進捗のまごころを説明



グループの意見を共有

第3回対話の場 大切にすることを視点(基本理念)のまとめ (WS1)

グループ	意見
1	<p>安心して子供を産み育てていく環境 少子化を止める 災害時の有効性 まち全体のデザインが大切。市の中心・バランス・交通 牧之原市っていいなあと思えるまちづくり 庁舎がどこにあれば市民が使いやすいか 市民の人が利用しやすい施設 牧之原市で歴史のあるもの 石雲楼・石油井戸・本間用水・相良城・勝間田城・川崎港 牧之原の飛行場・相良氏の歴史 残すものは残そう 新しいものは積極的に入れる 未来志向→実行するには市民全体の覚悟・理解が必要 市民を説得する方法論をしっかりと 納得させる伝え方？ 状況が変化した時にやり直す、考える勇氣と決断 NEW 納税のあり方改革と公共施設利用の運動 幸福につながる芸術・文化のあり方を構築する やっぱり大切 デザイン性と愛着 公共施設を減らしたら反感はある。データを伝える準備を！ 今後の不便は将来のための便利のため 色々な課題に目を向けるというきっかけを大切に 意見の共有 (課題) 子ども、子育て世代中心(未来志向) 魅力のあるまちづくりが大切 教育・子育て・スポーツなど、この先どうなりたいかという未来のイメージを考えて、施設をどうするか検討する 教育・子育てにどのぐらい重点を置くのか考える 人口流出すると、施設を作っても利用者がいない 住みたくなく、長年にわたり定住できるような町 賢く使うのは施設だけではなく人も どんな施設がどのような状況にあるか具体的に知る→方向性 地域のつながり 自治性、主体性を大切に施設、つかわれ方</p>
2	
3	

	<p>他市町の人がききたくなる、魅力をもった施設 他市にない施設を！ 市民感情は大切だけど、100%賛同は無理。 橋原と相良互いにそれぞれ愛着がある。 未来志向で→方向性・ビジョンをまずどういう術にするか(中期的・長期的に使えるように方向性を示す) 発想を生かす→維持・管理(単なる利用者で終わらない) 術づくりのことを考える 「賢く使う」→具体的に示した方が分かりやすい マイノリティの立場に配慮 未来を見る前に調査をみる (未来だけじゃダメ) まず現場をもう少し見たい！！ 夏でひとりひとりを大切に やる気のある公共施設マネジメント 考えるポイントや流れは把握しました。結果 住みやすさしたい？人を呼んで稼ぐ姿に？という姿にしたいか決める まちづくりに情熱を！！自然(周囲の)デザインに取り入れる 花のあるまち みんなで共有できる「まちのデザイン」ふくらめてかんがえられるといいですね 海・山 「お金」のアドバイザーにきてほしい 「賢く」使うはよい視点→かっこいいイメージ、ことを共有して・・・ 有益性のある運営 多少の不具合や不便を感じても 外から見てどうか？(全体像を適切に捉える) 使用者が管理にかかわる (シルバー人材型きずくスペースの有効活用) マイノリティの声が届くように・・・。(声の大小ではなく)</p>
4	
5	
6	
7	
8	

第3 回対話の場 施設分類別の大事にしたい意見 (WS2)

グループ	分類	意見
		「お」っとなるコンセプト
		クールな、かっこいい一語題になるような工夫のされたもの
		高齢者・障がい者に優しい行政づくり
		職員の人々が働き・時間をなくすための机やイスの設置
		全園初のノマド行政
		施設・建物が一ヶ所に集まっているって便利?
		市民の動きを最小限にできる様に市民活動の拠点としての図書館 (文化施設)
	庁舎	高台に新設するのは、合理的かもしれないが、市民からの反対が起これり そらーマネジメントで「減らす」ことをベースにしているのに「新しくする」は おかしい部分もある。 → 根拠をしっかりと(経コストを実現させる)
		市民活動が行いやすい文化施設
		クールな事務所(庁舎) 1人の職員に1人の机は古いかもしれない →机や資料の配置を洗練させる
		庁舎は牧之原に1つだけ
		庁舎はやっぱり1つが運送 まとまりがつくよな
		機能性を大切に
		高齢者、子ども、一般のおどなだれが来てわかりやすいデザイン
		高齢者、子ども、赤ちゃん、妊婦さん、障がいのある人など..みんなが 使いやすいトイレや待合いがある庁舎がかっこいい
		申請書は家で申請する。身体の不自由な人にも便利のように!
		かっこいいって..すつきりしている、ものがゴチャゴチャしていない!
		かっこいいって..統一感がある
		独自性、他市もやらむクール、かっこいい..人それぞれ
		新しい庁舎の場所が魅力ある所なら一年で5000人の人口増につながる る。20年で15万人の牧之原市にしよう
		牧之原市の交通インフラを最大限に生かす場所に庁舎をつくる
		市のイメージを最大に引き出す庁舎が良い
		庁舎の統合のキャッチフレーズ日本一の茶園の市、日本で一番日照時 間が長い所
		15~20年先には牧之原城(庁舎)を作ろう。茶畑に囲まれた城
		市の中心のシンボルが新しい庁舎に必要
		茶園が見渡せる高いところ
		人々の心が豊かになる文化・ゆとり
		方言で対応する窓口は残す

グループ	分類	意見
		図書館は市民が運営したらもっと自由にできる? 古本利用とか カフェのように気軽に気遣いではなく、カフェを作ってしまう
	複合化	複合化 (保育園・小学校) 複合化することで安全面などプラスになることが多い スポーツ産業化が促進できるような大規模な施設 一貫教育や交流など、大規模な複合化施設をつくる 子育てにはお金をかける まちづくり、支援 ソフト面の充実が大事 子育て支援を厚く、放課後児童クラブの拡大、職をもつ母親への支援 必要最小限ではなく、プラスαの支援をする 他市町にないような、人を呼べる新しく斬新な子育て施設(遊び場など) 福祉は老人に優しい 子育て支援に力を! 企業内に子育て施設を! 保育園、幼稚園、学校はどこでもあるので、中身や施設に特化 高台に施設を集約する 交通も確保
3	子育て支援 の充実	アクセシ..一局集中が喜ばしい人ばかりではない 庁舎の統合でそこを中心にもちづくりをすすめると良いかな 学校=キー 地域の方が集える場 老人や子ども 交遊を楽しむ・福祉の勉強 子育て、介護の視点 学校、保、幼、児童クラブ.. 複合化→交流・絆が深まる
	安全	複合化→交流・絆が深まる
	利便性	複合化→交流・絆が深まる
	複合化	複合化→交流・絆が深まる
	総務会の 基準	複合化→交流・絆が深まる
	安全	複合化→交流・絆が深まる
	かしく	複合化→交流・絆が深まる
	自然の利用	複合化→交流・絆が深まる
4	安全	「安全」に對してお金を使う 「安全」の確保にお金(建て替えや施設の解体と決断(閉鎖・統合)が必要 安全というのには一番大事で最優先かな 空き教室の有効利用は NPO 法人とかを市民がたちあげてやるとどうかな。 (それを市や学校が支援) 空き教室の利用 プール 30年(小学校もシーサイドも)→自然の利用で代替できないか(海 とか)
	かしく	「安全」に對してお金を使う 「安全」の確保にお金(建て替えや施設の解体と決断(閉鎖・統合)が必要 安全というのには一番大事で最優先かな 空き教室の有効利用は NPO 法人とかを市民がたちあげてやるとどうかな。 (それを市や学校が支援)
	自然の利用	「安全」に對してお金を使う 「安全」の確保にお金(建て替えや施設の解体と決断(閉鎖・統合)が必要 安全というのには一番大事で最優先かな 空き教室の有効利用は NPO 法人とかを市民がたちあげてやるとどうかな。 (それを市や学校が支援)
5	コミュニティ 制度	「安全」に對してお金を使う 「安全」の確保にお金(建て替えや施設の解体と決断(閉鎖・統合)が必要 安全というのには一番大事で最優先かな 空き教室の有効利用は NPO 法人とかを市民がたちあげてやるとどうかな。 (それを市や学校が支援) 空き教室の利用 プール 30年(小学校もシーサイドも)→自然の利用で代替できないか(海 とか) 具体的検討対象の幅ものがわからない 現状が分かりづらい コミュニティ関連施設の適正化 公民館とコミュニティセンターの区分けが不明 コミュニティに関して自治区の制度が違う 牧之原市といいたいながら橋原・相良のルールが厳く

	とりあえず相良・権原の自治会に関する考えを統一してほしい 牧之原市中央公園 複合化し、市民みんなが利用できる 新しいものを作り、牧之原市を1つにする 市の将来像とのマッチングを考慮 数より質 現状でコミュニティを作る場所は？公園も 市民が知らない・分らない＝興味がない＝使用しない コミュニティ施設の名前を用途のわかるように、子供にもわかるように 考えてみる 利用者の意見をきける どこにきけばよいのか 今あるものを明確に→見える化 公園に文化施設も一棟だと商業施設あがりそう 使いやすくトイレや食事、防災面も やっぱり海と山両方にシンボル公園がほしい！！ 企業と協力 楽しめる公園をつくる 作品の期間を決めて展示する 体験的な活動ができる 自然と共に 空き教室などを利用してコミュニティセンターも入れてみる 有効利用 公園+コミュニティなど一棟に 人(コロ・スキル)を育てる 子どもと高齢者のつながり 役割を決めないで過まないんじゃない？ 施設管理できめる 牧之原市歴史説明 まったく対象外からの掘り出しと可能性 オフシーズンの可能性 広がり、見込み、目標 今までと違ったイメージ付けを 物語をつくる→塩作り、子うまれ石 見るだけでなく体験できる 相良・権原間アクセス(共有ルート)またそこからの他へのアクセス方法 パワースポットウォーキング 単体ではなくつなげる(ツアー) 「観光」ならシーン別に目標を決めようよ！ 砂浜 牧之原にしかない海のポイント 海ガメとか？
公園	
情報共有 フェュージョンして 発信してみる いたれりつく せり まきのばら市	
みんな 体験！！ 心	
観光・訪客	
海	

	海と山のバランス、景観 海岸施設の今後 海の景色と市の計画 変えられること、変えられないこと 海水浴場 これまでの使い方と利用者 UP は見込めるかな？ もっと広い視野でのアプローチが必要？？ 複合化 教育・福祉・子育て 施設の複合が重要 廃止 高齢者が元気 (行動範囲をせばめない) →交通整備 オールシーズン使える施設 サービスの逆遊を観光に利用 観光(市外の人)と福祉(市内の人)を結び交通インフラ バスの運行状況がアプリで確認できたらいいかも タクシー配車システム 新 デマンド交通 多くの人が「来たくなる」魅力づくり 海を中心にした観光 使ってみたい・行ってみたいと思う魅力的な施設にする PR スマホ活用 NEW 各物 甘いもの 清潔 (トイレなど) 施設(海含む)の周辺の環境保全も大切にしたい
施設	
交通	
海・観光	
新	

第3回対話の場 施設分類別の大事にしたい意見「投票結果」(WS2)

グループ	意見	投票数	テーマ 順位
1	庁舎は"ひとつ"だよ	13	1
	市のイメージを引き出す庁舎	1	
	人の心が豊かになる施設		
	高齢者・子ども・一般の大人 誰が来てもわかりやすい、使いやすいデザイン	5	
	見た目がかっこいい...でも機能性が大切!!	1	
2	「おっ」となるコンセプト	7	2
	用事が無くても人が集まる複合施設	1	
	市民活動が行いやすい文化施設	1	
	高齢者や障がい者に優しい行政づくり		
3	全園初のノマド行政(コストダウン)	6	3
	子育て支援の充実(出産～中学 園療の充実、親への支援、放課後児童クラブなど昼所をのぼす教育、教育の中身の充実)	11	2
	複合化		
	安全 (災害に強い施設)	1	
	魅力のある施設		
4	安全の確保にお金と決断が必要		
	ある物をよく使う (プールの代わりに海)	8	3
	複合化するとみんな集まって幸せだな	16	1
	ちよっと待った!! ただまともな方がいいってもんじゃない!		
	牧之原らしい学校の規模ってどのくらい?	2	
5	シンボリックな「牧之原中央公園」を作る。		
	現制度の相良・橋原地区の意見を統一しないと検討が難しい (コミュニティ施設)	9	2
	施設の名稱を子供にもわかるよう、まず覚える? 高齢者にもひらがな日本語でいいじゃん!!	6	3
6	情報の送受信		
	心を育てる複合施設	4	
	ルンブルト企業と協力海と山シンボル公園	13	1
7	自然体験!! 美術作品など展示しまわそう!!		
	海の公共施設の利用・活用法の検討をする	6	2
	訪客を目的とした新しい観光のあり方を考える	11	1

	市内・市外へのアクセス(共有機関)の整理を考える	2
	海周辺の市の計画を知る!	
	施設の効果化	1
8	インフラ整備(福祉施設の車両活用)	4
	海を中心とした観光	3
	名物開発(スイーツ)	
	清潔感	3

第3回対話の場 新聞記事

平成27年10月24日(土) 静岡新聞 朝刊

公共施設、目指す姿は

牧原市民50人が議論

牧原市自治体委員を市民で構成する回  
例推進会議(会費・坂  
本光司参政大孝蔵教  
想は、今日の市  
内の公共施設の在り方

を議論だ。  
会費は行政を花  
▽学校・体育・子育て▽  
コミュニティ!公園  
▽観光産業・保健福祉  
「四つの方針で」本府  
に「どう」分府別  
のありたい姿につい  
てグループに分かれて  
議論した。各グループ  
からは庁舎は「こ  
子育ての充実」施設  
の複合化などの意見  
が出た。参加者全員で  
投票を行い、各意見の  
関心の傾向を分析し  
た。市民は「集まる多  
みる」公共施設を多  
くとし「複」で暮ら  
す公共施設を300の場  
を今後20年で全施設の  
延べ床面積を1.4  
年率20%削減を目指  
す方針を示している。



1 今日の進め方

(1) アイスブレイク

- ・みんなで地図を使って楽しく公共施設の位置を確認しよう。
- ・知らない施設の事をグループ内の知っている人から聞いてみよう。

(2) 今日のゴールの説明

- ワークショップ①  
施設分類別の方向性を深めて、この会の方向性を整理しよう。
- ワークショップ②  
グループメンバーを混ぜて、賢く使うことを横断的に考えてみよう。

(3) 施設分類別の方向性を深めよう！

- ・前回話した施設分類別の大事にした見聞などを基に行政で検討した案を説明（市の施設の担当者からテーマ毎）
- ・今回は、テーマ毎に論点を絞って話し合う。

No	施設	話すこと
1	行政・文化施設	庁舎
2	学校・体育・子育て施設	学校
3	コミュニティ・公園施設	コミュニティ
4	保健福祉・観光産業施設	観光産業施設

庁舎や学校は方向性が異なるので、事前に意見を交換しよう。

- ・説明を聞いて、質問したいこと、感じたこと、付け加えたいことなどを書きだして、みんなでお話ししよう！

(4) 賢く使うことを横断的に考えてみよう！

- ・施設分類別の方向性を踏まえて、考えるうえでの課題を説明

○まちづくりの拠点として、みんなが交流や活動しやすい  
相良庁舎、学校施設、コミュニティ施設の活用方法を考えよう！  
○海・シンボル公園を活かした観光を考えよう！

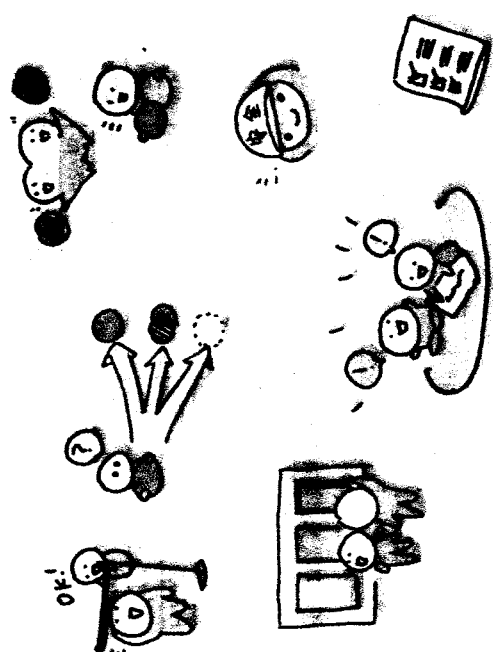
- ・課題に対して「楽しい利活用のアイデア」を書き出し、グループで共有したうえで、3つを選ぶ（残したいものがあれば他に2つまで）
- ・その意見を文章化し、全体で投票する。

第4回目は、まとめを見聞えながら整理する会です。  
施設毎の方向性を深めながら、横断的に考えることに  
取組み、第5回でのまとめに繋がります。

この会の全体像が見えてきます。

# 第4回

日時：平成27年11月17日（火）  
午後1時30分～午後4時30分  
会場：坂部区民センター ホール



2 参考資料（公共施設白書より抜粋）

○庁舎の状況

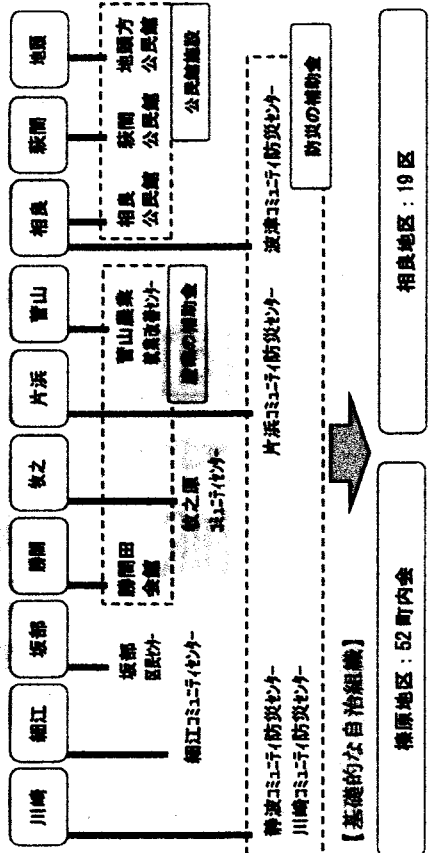
庁舎名	面積	職員数	建築年数	経過年数	棟数
棟原庁舎	8,318.0㎡	124人	平成6年	20年	11
相良庁舎	6,061.1㎡	116人	昭和60年	28年	4

○学校施設の状況 ※組合立を除く。児童生徒数は、各年度5月1日現在の人数

学校名	児童・生徒数		延床面積	建築年	経過年数
	S55	H26			
相良小	1,073	566	8,239㎡	昭和59年	30年
片浜小	155	34	3,898㎡	昭和60年	29年
青山小	181	142	3,603㎡	昭和56年	33年
萩間小	305	120	3,581㎡	昭和40年	49年
地頭方小	461	225	4,625㎡	平成2年	24年
川崎小	953	436	6,533㎡	昭和43年	46年
細江小	606	493	5,934㎡	昭和45年	44年
勝間田小	266	139	3,679㎡	昭和39年	50年
坂部小	219	96	3,211㎡	昭和37年	52年
小学校全体	4,219	2,251	43,403㎡	-	-
相良中	698	456	10,372㎡	昭和50年	42年
棟原中	896	600	10,650㎡	昭和47年	39年
中学校全体	1,594	1,056	21,022㎡	-	-

○自治会制度と施設

【10校小学校区と施設】



※防災や産業の補助金を活用した施設も実際はコミュニティセンターとして利用している。  
 ※公民館は、市全体の生涯学習の拠点施設。相良が本館、萩間、地頭方が分館

【自治会組織のあり方】地区長会からの発言の内容

- ・小学校区10地区で構成する「地区自治推進協議会」を設立
- ・小学校区の単位で、地域で活動する人達の連携・協力、地域の課題解決に向けた住民の主体的参加、住民の合意形成、市政への市民参加などを進める組織

○施設の状態

【公民館施設】

施設名	延床面積	建築年	経過年数
相良公民館	1,846.6㎡	昭和49年	40年
地頭方公民館	551.9㎡	昭和60年	29年
萩間公民館	456.3㎡	昭和55年	34年

【コミュニティ施設】

施設名	延床面積	建築年	経過年数
細江コミュニティセンター	1,140.0㎡	昭和62年	27年
牧之原コミュニティセンター	487.0㎡	昭和62年	27年
勝間田会館	638.0㎡	昭和59年	30年
静波コミュニティ防災センター	1,192.0㎡	平成8年	18年
川崎コミュニティ防災センター	517.0㎡	平成3年	23年
相良コミュニティ防災センター	419.0㎡	平成2年	24年
大江コミュニティ防災センター	392.0㎡	平成9年	17年
片浜コミュニティ防災センター	419.0㎡	平成11年	15年

※ 静波コミュニティ防災センターと川崎コミュニティ防災センターは、消防団詰め所との複合施設

※ 坂部地区民センターは、坂部区が所有

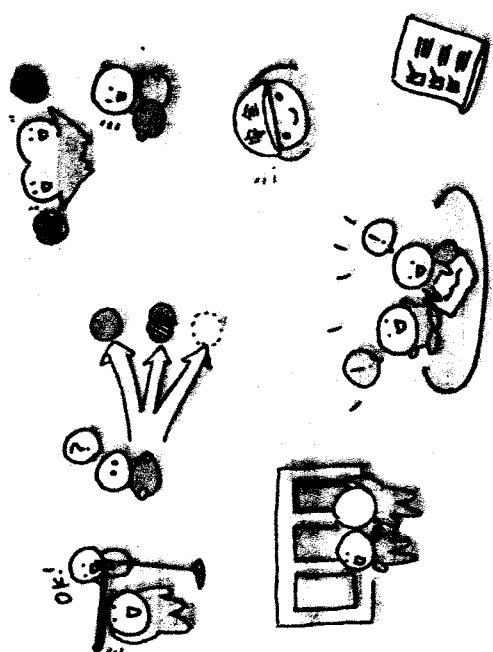
○施設の状態

施設名	延床面積	建築年	経過年数
塩づくり体験施設	79.5㎡	平成15年	11年
観光物産・案内センター	692.0㎡	昭和57年	32年
子ども未来石体感施設	77.0㎡	平成7年	19年
棟原ライオンセービングハウス	160.0㎡	平成14年	12年
相良ライオンセービングハウス	399.6㎡	平成4年	22年
坂部復興センター	498.2㎡	昭和55年	34年
農村の家	386.0㎡	昭和61年	28年

※農村の家は、1階は農産加工・調理実習、2階は放課後児童クラブとして使用

# 第4回

日時：平成27年11月17日（火）  
午後1時30分～午後4時30分  
会場：坂部区民センター ホール



## 1 今日の進め方

### (1) アイスブレイク

- ・みんなで地図を使って楽しく公共施設の位置を確認しよう。
- ・知らない施設の事をグループ内の知っている人から聞いてみよう。

### (2) 今日のゴールの説明

- ワークショップ①  
施設分類別の方向性を深めて、この会の方向性を整理しよう。
- ワークショップ②  
グループメンバーを混ぜて、賢く使うことを横断的に考えてみよう。

### (3) 施設分類別の方向性を深めよう！

- ・前回話した施設分類別の大事にしたいたい意見などを基に行政で検討した案を説明（市の施設の担当者からテーマ毎）
- ・今回は、テーマ毎に論点を絞って話し合う。

No	施設	話すこと
1	行政・文化施設	庁舎
2	学校・体育・子育て施設	学校
3	コミュニティ・公園施設	コミュニティ
4	保健福祉・観光産業施設	観光産業施設

庁舎や学校の方向性が異なる場合、事前に意見をすり合わせる。

- ・説明を聞いて、質問したいこと、感じたこと、付け加えたいことなどを書きだして、みんなまで話し合おう！

### (4) 賢く使うことを横断的に考えてみよう！

- ・施設分類別の方向性を踏まえて、考えうるうえでの課題を説明

○まちづくりの拠点として、みんなが交流や活動しやすい  
相良庁舎、学校施設、コミュニティ施設の活用方法を考えよう！  
○海・シンボル公園を活かした観光を考えよう！

- ・課題に対して「楽しい利活用のアイデア」を書き出し、グループで共有したうえで、3つを選ぶ（残したいものがあれば他に2つまで）  
・その意見を文章化し、全体で投票する。

第4回目は、まとめを見据えながら整理する会です。  
施設毎の方向性を深めながら、横断的に考えることに取組み、第5回でのまとめに繋がります。

この金の金体像が見えてきます。

2 参考資料（公共施設白書より抜粋）

○庁舎の状況

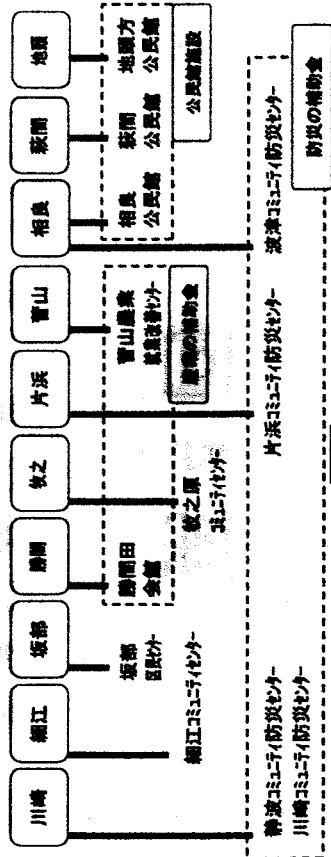
庁舎名	面積	職員数	建築年数	経過年数	棟数
棟原庁舎	8,318.0㎡	124人	平成6年	20年	11
相良庁舎	6,061.1㎡	116人	昭和60年	28年	4

○学校施設の状態 ※組合立を除く。児童生徒数は、各年度5月1日現在の人数

学校名	児童・生徒数		延床面積	建築年	経過年数
	S55	H26			
相良小	1,073	565	8,239㎡	昭和59年	30年
片浜小	155	34	3,898㎡	昭和60年	29年
青山小	181	142	3,803㎡	昭和56年	33年
萩間小	305	120	3,581㎡	昭和40年	49年
地頭方小	461	225	4,825㎡	平成2年	24年
川崎小	953	436	6,533㎡	昭和43年	46年
緒江小	606	493	5,934㎡	昭和45年	44年
勝間田小	266	139	3,579㎡	昭和39年	50年
坂部小	219	96	3,211㎡	昭和37年	52年
小学校全体	4,219	2,251	43,403㎡	-	-
相良中	688	456	10,372㎡	昭和50年	42年
棟原中	836	600	10,650㎡	昭和47年	39年
中学校全体	1,534	1,056	21,022㎡	-	-

○自治会制度と施設

【19の小学校学区と拠点施設】



【基礎的な自治組織】



※防災や産業の補助金を活用した施設も実際はコミュニティセンターとして利用している。  
※公民館は、市全体の生涯学習の拠点施設。相良が本館、萩間、地頭方が分館

【自治会組織のあり方】地区長会からの提言の内容

- ・小学校区10地区で構成する「地区自治推進協議会」を設立
- ・小学校区の単位で、地域で活動する人達の連携・協力、地域の課題解決に向けた住民の主体的参加、住民の合意形成、市政への市民参加などを進める組織

○施設の状態

【公民館施設】

施設名	延床面積	建築年	経過年数
相良公民館	1,846.6㎡	昭和49年	40年
地頭方公民館	551.9㎡	昭和60年	29年
萩間公民館	456.3㎡	昭和55年	34年

【コミュニティ施設】

施設名	延床面積	建築年	経過年数
細江コミュニティセンター	1,140.0㎡	昭和62年	27年
牧之原コミュニティセンター	487.0㎡	昭和62年	27年
勝間田会館	638.0㎡	昭和59年	30年
静波コミュニティ防災センター	1,192.0㎡	平成8年	18年
川崎コミュニティ防災センター	517.0㎡	平成3年	23年
相良コミュニティ防災センター	419.0㎡	平成2年	24年
大江コミュニティ防災センター	392.0㎡	平成9年	17年
片浜コミュニティ防災センター	419.0㎡	平成11年	15年

※ 静波コミュニティ防災センターと川崎コミュニティ防災センターは、消防団詰め所との複合施設

※ 坂部区民センターは、坂部区が所有

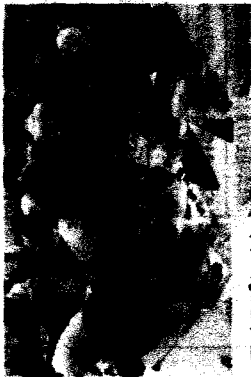
○施設の状態

施設名	延床面積	建築年	経過年数
星づくり体育施設	79.5㎡	平成15年	11年
観光物産・案内センター	692.0㎡	昭和57年	32年
子生まれ石休養施設	77.0㎡	平成7年	19年
棟原ライプアーセーピングハウス	160.0㎡	平成14年	12年
相良ライプアーセーピングハウス	399.6㎡	平成4年	22年
坂部産業センター	498.2㎡	昭和55年	34年
農村の家	386.0㎡	昭和61年	28年

※農村の家は、1階は農産加工・調理実習、2階は放課後児童クラブとして使用

### 3 話し合いの様子

・地蔵堂が去施設が位置を説明



アイスブレイクを始めて

・施設分類別の方向性を説明する



置き施設の活用など代案を  
意見が出た。

発表と投票



庁舎、学校、コミュニティ、観光の4つ  
の分類の検討案（たまたま台）を情報提供

・施設分類別の方向性の検討案を説明



・楽しい活用のアイデアを考える



### 第4回対話の場 施設分類別の方向性に関する意見(WSI)

グループ	項目	意見	
1	高台移転の検討の継続	高台移転は必ず同時進行 最終的には高台へ。何年頃かな。しかし良いと思う。高台賛成！！	
	統合後は？ (相良庁舎)	相良庁舎の有効活用の計画・予定は充実したものになっている？ 置口は譲るんだよね？	
	説得力のある 説明を	誰にとつての効率なのか 市民の考え方は？感じ方 相良地区に行政を集約することは便利なのか？ 相良地区に暮らす人 不便になるのかな？	
		市民の 合意形成	市民の合意は取る。説明会はどんな風に 庁舎を相良エリアに移転する時期はいつ頃が良いのか？ もっと広く市民の声を聞いてみたい 市民体の合意形成をどのように行うか
	統合の課題 (コストなど)	文化センター 解体・新設費用 相良文化センターの跡地へ増築するお金(予算)はいくら 相良庁舎は相良庁舎より古くて津波が来た時も危険(2.1m) コストのシミュレーションを示したほうが説得的かもしれない 文化センターの改築で相良庁舎分の機能をフォローできる ホールも使えそうだけど・・・カーボンテープ+外側に構造 層板だけとって屋外ホール+直構造(テントみたいな)ドーム 間仕切り ノマドはスルー？ データ化してオープンデスク？ 今の庁舎はメンテナンスばかりかかってムダばかり 立体駐車 経済の駐車場の使用	
		ホール	1つの庁舎になったら楽だな～ さざんかも浸水区域ですね・・・ 安くメンテナンスできるもの 津波避難タワー スケルトン イン フィル ゆくゆくは高台 うまく設計したいね
		相良庁舎	相良庁舎はメンテナンスばかりかかってムダばかり 相良地区の方も楽になるんじゃないかな～
			相良問題
	2	相良庁舎	1つの庁舎になったら楽だな～ さざんかも浸水区域ですね・・・ 安くメンテナンスできるもの 津波避難タワー スケルトン イン フィル ゆくゆくは高台 うまく設計したいね
			相良庁舎はメンテナンスばかりかかってムダばかり 相良地区の方も楽になるんじゃないかな～
相良庁舎はどうするか？ (案)公民館・図書館にする、底上げをする 相良庁舎はどうしますかね？ 庁舎を1つにすることで遠くなる相良地域へのサービスの低下の代替案 はあるのか？			
相良問題			

3	<p>魅力</p> <p>魅力も育めた統合に ・(ハード (ICT) ソフト) △反対派の納得 (説明後) △空き整理 (整理)</p> <p>空室遊戯の活用も魅力になるように 高齢者、生涯教育、～魅力のもの～ 他市町引越したくなるように 通学距離 (小学生2クラス以上) (8 学級以下の有効性はやはりある 周辺との交流</p> <p>学校行事のあり方を付け加えたら！</p> <p>修学旅行 片栗小 先生 4 人 子供 3 人・集団行動 意味 ためのしめ る？ かわいそう</p> <p>コミュニケーション力 子供らしさ</p> <p>そもそも学校って…家庭教師？ 家族ではなく…特別な場所</p> <p>単年度の保清 15 年後目途…良いかな</p> <p>津波対策も考え、早めの(X)になる前取りずつと前に決断したい</p> <p>親が学校で働いてるために減額する方が多いと思う</p> <p>…が分かっていてるので決断が必要ですね もやもやしている、行先決断</p> <p>…でも早く早く！！</p> <p>小中一貫もしくは通学→どんなことが出来るのか？</p> <p>複式学級は学校教育として好ましくないのは？</p> <p>統合(学校)するとなるとバスは運行も必要になりますね</p> <p>まさきに勝間田小学校が 60 年を迎えますが(10 年後)、その時勝間田 小学校は坂部小学校と統合になるんでしょうか？</p>
4	<p>スピードが 大事</p> <p>聞いて みたいこと</p> <p>タイミグ？</p>

	<p>統合すると友達が多くなっていい</p> <p>学校の統廃合はどのタイミング？ 老朽化 児童数 子供の人数少ないがどのタイミングで統合する 寿命の時期 権原地区内 各小学校近い、1つにまとめたやすい。</p> <p>建てなおす場合 ・移転・建て替え・安全</p> <p>小学校をまとめてキレイな校舎を建てる どうして通学するのか？ 遠くなる</p> <p>老朽化した学校を閉鎖する方向で地域間の学校の偏在という事懸は生 じないのか？</p> <p>地区の理解をどうやって得るか</p> <p>統合したら後の利用はどうなる？ (廃校)</p> <p>第 60 年の小学校はやめるといことですが、それを他の目的に転用でき るのか。もう取り壊す方針なのか、それとも跡地になにか建てることもあ り得るのか？</p> <p>中学校単位で小学校をまとめるには、大規模すぎでは？ (小中連携は 良いと思うけど)</p> <p>小中一貫連携はいいと思う</p> <p>小学校を 2 つというのはいいいとして、権原・相良という区分でなく、「海 ほう」「山のほう」みたいな新しい区分で 2 つにできないか？</p> <p>小中の連携と小中一貫教育、現実的なのはどっち？</p> <p>思い切って中学校を 1 つにするという可能性はないのか？</p> <p>35 人学級が良いのか？ 20 人学級が良いのか？</p> <p>小学校のことはわかったような…保育園はどうなるのか</p> <p>小中の連携より、幼稚園と小学校の連携を考えて欲しい</p> <p>小規模校と大規模校の児童数の格差が大きい</p> <p>川小・人口多いのに権原地区で減少率一番高い</p> <p>小学校区での推進ですが、その単位地区の現状がわからない</p> <p>確かに小学校区での単位が一番まとめたやすい</p> <p>自治会組織とコミュニティ施設単位が合致するのはわかりやすく、防災・ 絆・組織の面で効果的</p> <p>今園の話し合いと地区自治推進協議会との関係</p> <p>補助金が入っている施設はどうする？</p> <p>市が所管は地区で運営が良い、統一しやすい 利用しやすい</p> <p>片小 統合されますが…長い目で見てどうなるのだろうか？</p> <p>お互いの地域の施設を思いやりよくしてほしい 交流</p>
	<p>建て替え ・新築</p> <p>その他</p> <p>連携</p> <p>感じたこと ・疑問</p> <p>学校区</p> <p>？</p> <p>運営方法</p> <p>利用に</p>
5	

6	<p>ついて</p> <p>防災施設は減らせない</p> <p>小学校を公民館と兼用したら？</p> <p>地元の人以外の施設の利用</p> <p>施設の利用料金</p> <p>たのしい時間への感謝だね</p> <p>各地区単位(小学校区)で取り組み(観音)となることうまいかない原因は何か？</p> <p>現在の“小学校区”→未来志向だったか？！逆に大変になってしまった？</p> <p>10 地区にしたそもその理由が知りたい！！</p> <p>各区の拠点施設⇨施設活性化 総合利用でかばー？！ 拠点なしの区が！？</p> <p>1 地区に2 つある施設は？2 つを使っていく？</p> <p>本当に必要な施設は空地にしてピクニックできるようにする</p> <p>人口凝集合った施設</p> <p>片浜小のあき教室！つ1つにバスキャリみたいな素人先生に常駐してもらう</p> <p>相良小からのバスを出してもいいのと思う</p> <p>子どもたちも大人もたのしく気軽に集まれる片浜小学校</p> <p>10 地区のコミュニティ施設をまわる巡回バス</p> <p>各地区の小学校の空き教室めぐりバス運行</p> <p>全ての地区の施設を市が所管？地区が運営する？</p> <p>地区毎で考える！？ (あの地区は○○、この地区は××が有名)⇨出にくいかな？！</p> <p>まちづくりの中で複合利用を考える？</p> <p>牧之原市 観光の魅力って何？</p> <p>オフシーズンの観光スポット</p> <p>海以外の観光</p> <p>体験型 お茶手も体験、つり、サーフィンも冬やる！！</p> <p>施設は新しくない 古くてもキレイに！</p> <p>よってけ市(市) ほうせん館(JA)</p> <p>物産センターの統合</p> <p>空港で観光センターをつくるなら、利用する人向けの情報にしぼる</p> <p>案内所は人が来る。集まっている所の方がPR・案内出来るから良いね！</p> <p>行動的な観光協会のあり方に賛成</p> <p>観光協会 空港は (若い人の意見)</p>	<p>7</p> <p>8</p>
7	<p>料金</p> <p>情報を知りたい</p> <p>拠点施設あり方！！</p> <p>例えば</p> <p>？</p> <p>牧之原市の観光の魅力</p> <p>キレイがいいね！</p> <p>活用方法</p> <p>PR</p> <p>観光協会のあり方</p>	<p>空港からの移動で多いのはバス？タクシー？</p> <p>忘れちゃいけないじゃない？観光だよ。おもしろいこと！！</p> <p>ニーズに合わせて運営⇨でつかんだ牧之原市へ求めるニーズとは…</p> <p>ニーズの掘り起しをしたい…</p> <p>体験プランの具体(例)とその魅力</p> <p>今ある組織の役割分擔をまず！！ 考える上で必要</p> <p>例にあげられた学校空き教室の見込み</p> <p>ライフ 民間利用に個人の家も含めてはどうか</p> <p>ライフセーバーの宿泊所 2ヶ月なら民宿又はアパートでも良いと思いたい。</p> <p>夏型2ヶ月以外の利用の検討 (現状を知りたい)</p>
8	<p>空港</p> <p>ニーズを考えよう</p> <p>施設利用考え</p>	<p>空港からの移動で多いのはバス？タクシー？</p> <p>忘れちゃいけないじゃない？観光だよ。おもしろいこと！！</p> <p>ニーズに合わせて運営⇨でつかんだ牧之原市へ求めるニーズとは…</p> <p>ニーズの掘り起しをしたい…</p> <p>体験プランの具体(例)とその魅力</p> <p>今ある組織の役割分擔をまず！！ 考える上で必要</p> <p>例にあげられた学校空き教室の見込み</p> <p>ライフ 民間利用に個人の家も含めてはどうか</p> <p>ライフセーバーの宿泊所 2ヶ月なら民宿又はアパートでも良いと思いたい。</p> <p>夏型2ヶ月以外の利用の検討 (現状を知りたい)</p>

第4回対話の場 楽しい活用アイデア(WS2)

グループ	項目	内容
1	観光	<p>海のテーマパーク</p> <p>遠くから人がくる体育施設 (例:浜岡のプール) (大学の合宿に使われる)</p> <p>“潮干狩り”ができる海岸 (お食はとります)</p> <p>水産館など自然にマッチした施設の</p> <p>各地区で歴史的なものを集めたい</p> <p>学校型文化施設</p>
	文化のかおりのする町へ	<p>生涯教育 (ターゲットを絞って民間の運営で新しいコミュニティ)</p> <p>美術館にかわるものを作りたい (作品の展示の場をつくりたい)</p> <p>作品づくりに励む活動をしたい</p> <p>図書館を各地区につくりたい図書館の充実 ※複合型の施設</p> <p>みんなが来たくくなるような庁舎 EX:パワースポット ネットで話題の・・・</p> <p>庁舎を1つに1棟会とは？→1つを映画館にしたい</p> <p>地区の施設で地域の方々も参加して、1~6年生が集まる児童クラブとか</p> <p>地元のお宝を展示する場所 (美術館みたいなもの)</p> <p>道の駅を作る。地元の農産物を売る場所</p>
2	観光施設 リニューアル	<p>公園とコーヒーショップの一体化</p> <p>夏の観光客減 海とあわせて楽しめる施設</p> <p>富士山がきれいに見える亭。観光にしたい。</p> <p>海の見える富士山・茶畑レストランとして使わなくなった学校とか</p> <p>施設の利用をもっと気軽にできるという</p>
	公共施設	<p>古い施設の中へ地区のクラブ活動的な場所の提供をする</p> <p>老若男女たくさんの方が集まる複合施設</p> <p>地区毎に色を出す→橋原のあの地区に行くところ〇〇が完備している。</p> <p>相良のあの地区へ行くところ〇〇ができる</p> <p>夜の学校で親子料理教室</p> <p>今ある施設は最大限に利用</p>
3	市民参加型 施設 リフォーム	<p>市民参加型施設</p> <p>リフォーム</p>
	イベント (海のイベント)	<p>海岸をオフシーズンでもイベント会場として利用</p> <p>海をモチーフにしたアーティスト(芸術家)との協力・連携役割構築</p> <p>利用料は高くてもサービスの質が高ければオッケー</p> <p>会員の公共施設利用</p> <p>あえて風化させて廃墟ツアーを開催。20~30年後ぐらいに・・・</p> <p>子育て施設と高齢者の交流の場を複合させる</p> <p>学校ごとに子どもたちと地域の大人が関わる教室(遊びの場所をつくる。(放課後)</p> <p>各地域に子どもから大人まで集える施設配置</p> <p>空き教室をNPO やボランティア団体に貸し出す</p> <p>公共系の図書館施設の複合化 (公民館・学校図書館・公共図書館)</p> <p>みんなでのしかかかわって子ども主役がふるえていくまち</p> <p>ノマド行政というのにつけてしたで、ノマドコミュニティ施設もたのしそう</p> <p>冒険してみるコミュニティ施設運営</p> <p>相良庁舎カフェテリア (民間に)</p> <p>学校・高齢者が集まって井戸端会議・日向ぼっこをする所に。</p> <p>グラウンドはグラウンドゴルフもできる。</p> <p>使わなくなった学校を放課後児童クラブに利用する</p> <p>学校(統合した)を市立図書館に・・・(図書館サイズじゃ悪い・・・)</p> <p>介護施設の民間へつかってもら</p> <p>使わなくなった施設にベンチャー企業を市のアビールに</p> <p>ライブハウスいゝら</p> <p>市全体の施設を市販がまわって健康づくり</p> <p>ライブセービングハウス 年2回利用では・・・年間利用できるように宿泊施設化へ</p> <p>空手の人を誘ってみる 海を走ろうぜ!</p> <p>空港と港を最大にアビール</p> <p>いろいろな年代とかかわられるような既存の楽しいイベントをもっと発信</p>
4	アドベンチャー	<p>アドベンチャー</p>
	民間提供 イノベーション (創造)	<p>民間提供</p> <p>イノベーション(創造)</p>
5	現在の施設 の エクステンション (拡大)	<p>現在の施設</p> <p>の</p> <p>エクステンション(拡大)</p>
	ものすごい アビール	<p>ものすごい</p> <p>アビール</p>



	<p>してみる。</p> <p>牧之原市の特産「お茶」を最大限アピール 学校の水道からお茶</p> <p>観光施設をバスで案内</p> <p>旅行社ツアー</p> <p>案内</p> <p>各施設の場所の案内図をつくる</p> <p>各施設に出張所</p> <p>施設を1カ所にまとめず、バス・徒歩圏内に設置しても良いかな？</p> <p>利用目的に特化した公園など 子供用・サッカー・野球・スケボー・フットサルなどなど</p> <p>利用料金を減額にもらえる様に</p> <p>施設の料金統一</p> <p>学校と公民館 空き教室を利用</p> <p>空いた公共施設をシェアハウスや高齢者向けとして1つのコミュニティ形成</p> <p>学校施設とコミュニティの併合化</p> <p>老人が食食できる施設の充実</p> <p>夜間の街をもっと明るくする</p> <p>コソコソやるプロセスも大事</p> <p>人が集まれるインフラ整備</p> <p>キレイな施設(新しい..ではない) →大切に使う！！</p> <p>民間と協力する</p> <p>他の地区にある施設も使えるようにする(レールの統一)</p> <p>各施設をつなげる方法(ポイントカード的..)</p> <p>新しい事をしよう</p> <p>不利な条件(交通の便・人口減少)を生かそう</p> <p>一発逆転(逆転の発案)</p> <p>お茶畑の中を歩ける遊歩道(1~2km)..お茶畑と公園が一緒になったような~</p> <p>お茶畑の中に商店街</p> <p>校庭=けっこう楽しい公園</p> <p>夏..遊作り..冬..イモ切干でも作ってみる？(学校の授業)</p> <p>高台にもなる</p> <p>長期的なプランも常に提示しよう</p> <p>お年寄りと子供の交流施設があると..</p>
5	
6	
7	

	<p>夕食・昼食をもちよって食べることでできる施設</p> <p>各種団体が自由に使える施設</p> <p>牧之原市の主要な公園で、いっせいに今までやってきたことがなかったようなイベント(移動動物園とか..)をやる日をつくる</p> <p>フェス</p> <p>〇月〇日に〇〇へ行く〇〇(市長・ゆるキャラ)に会える~</p> <p>夜遊える(利用車UP)</p> <p>体育施設をもっとアピール。誰でも知っている簡単な利用</p> <p>「公共施設の楽しい使い方」のコンテストをやって、年間で最も新しく楽しい使い方をした人やグループを表彰する</p> <p>予約が順</p> <p>各公共施設に少しずつ番組を置いて、全部合計すると図書館の蔵書になるようにしてみる(全体で1個の図書館)</p> <p>体験施設を増やす(建物は現物のもので)</p> <p>学校の空き教室にコミュニティ施設機能を持たせる</p> <p>学校→サービスマスター・教育施設・公民館</p> <p>庁舎移転で空き建物の利用</p> <p>空きスペースの状態に合わせて使用できるよう工夫</p> <p>空きスペースで習い事。外部の倉庫</p> <p>魅力ある観光に市の行事ものつける</p> <p>地頭方海浜公園を複合化して観光施設とする</p> <p>B&amp;Gプールの温水化</p> <p>田んぼなどを使って何かイベントを。子供たち・コンサートなど..</p> <p>観光 いくつかがかが体験できるような..体験村のような施設</p> <p>いろいろな地域で行事を行って交流できるように</p> <p>外部への情報提供</p>
大規模なイベント..	
市長に会える..かも	
利用車のUP	
体験施設があったらいいな	
空きスペースの有効利用	
魅力ある観光	8
交流	

平成27年11月18日(水)静岡新聞朝刊21面

第4回対話の場 楽しい利活用のアイデア「投票結果」(WS2)

グループ	意見	投票数	順位
1	自慢できる文化の集(文化複合施設) 海のテーマパーク(水族館・潮干狩り・遊具) 劇場を映画館に!	4 1 19	4 1 1
2	海・富士山・茶畑の見えるレストラン(学校・榛原庁舎6階・リサイクルセンター... 夜更めちやキレイー夜更見ながら温泉) 夏の学校のプールの授業は民間施設を利用する(エースワン・BQ) 公園(子育て教室)とコーヒージャップ(コーヒージャップ大人)親子で来れる! やアーストフードのにぎわいの場	8 5	
3	市民参加型登着形成のための施設リフォーム 利用者特化(金員制・賃の高い利用) 四季折々の施設・海を利用したイベント 集約遊歩・風化させ遊歩ツアー 公共施設アドベンチャー 発想も運営も買収してみる!!	15 3 1	2
4	民間連携イノベーション!! (創造) ・相良庁舎カフェテリア ・空き校舎放課後児童クラブと図書館 ・介護施設民間運営!! 現存施設エクスパンション!! (拡大) ・ライブハウスいーら、ライブセッションハウス合宿所 ・コミュニティ施設めぐりウォークキング ものすごいアピール!! 情報発信!! 海・空港	13 4	3
5	公共施設マネジメントでがっちり!! 金 目的に特化した公園整備をする スケボーパーク・サッカー...子供用など 空いた施設をシェアしたり、高齢者向けの施設をつくる(活用) 案内図をつくって、バスでまわる お茶畑を活用しよう!! 高台移転にもなるよ!! ・お茶畑の中を歩ける遊歩道 ・お茶畑の中に園遊街 各施設をポイントカードでむすんでみよう!!	9 1 1 13 2	9 1 1 3 2
6	市長に会える!かも 体育館を真夜中にも使える 各施設に香煙を置く(図書館) フェスをもちと誘致して観光資源に 世代間交流	1 11 4 1	1 11 4 1
7	民間間交流		
8	みんなが行きたくなるスペースの利用 官民協働で魅力ある観光づくり 情報提供しているいろいろな交流 広い	2 2	2 2

# 相良庁舎、榛原へ統合 小中連携教育も方向性示す

牧之原市方針

牧之原市は、11月18日(水)の市議会(常任委員会)で、相良庁舎と榛原庁舎の統合や、小中連携教育の方向性を示す方針を明らかにした。これにより、相良庁舎と榛原庁舎を統合し、相良庁舎を市庁舎として活用する方針を示した。

相良庁舎と榛原庁舎の統合は、市庁舎の機能強化を図るため、相良庁舎を市庁舎として活用する方針を示した。また、小中連携教育の方向性を示す方針を示した。これにより、相良庁舎と榛原庁舎を統合し、相良庁舎を市庁舎として活用する方針を示した。

牧之原

# 庁舎統合の撤回要請

## 旧相良町「議論に時間必要」

旧相良町協議会の  
牧之原市議9人が15  
日、市役所庁舎を  
訪れ、市役所庁舎  
を統合する計画の  
撤回を求め、市議  
会総会をめぐり、市  
議会基本条例推進委  
員会が

市議会の議決を  
求める。市議は「  
統合は「市議は一  
つに協議を続ける  
べき」として、市議  
会に撤回を求め、  
市議会は「市議は  
一つに協議を続け  
るべき」として、市  
議会基本条例推進委  
員会が

議の町民が合併を  
に交わした。市議  
「相良町は、市議  
は協議を続けるべ  
い」として、市議  
会に撤回を求め、  
市議会は「市議は  
一つに協議を続け  
るべき」として、市  
議会基本条例推進委  
員会が

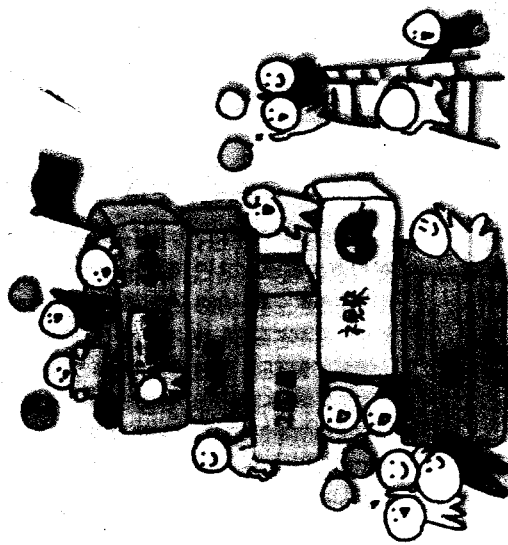
の合併で「いざれ  
は一つに待たせな  
らぬが、もう少し  
論議時間をとら  
せたい」として、市  
議会基本条例推進委  
員会が  
市議会は「市議は  
一つに協議を続け  
るべき」として、市  
議会基本条例推進委  
員会が

ロベットの歴史を  
に追われた。  
市は年度内に策定す  
る「合併協議案シ  
ェット」に基づき、  
市議会基本条例推  
進委員会に  
市議会の意向を  
説明するよう求め  
た。市議会は市議  
会の意向を  
市議会基本条例推  
進委員会に

# 第5回

日時：平成27年12月17日(木)  
午後1時30分～午後4時30分  
会場：牧之原市史料館 2階ホール

☆☆



## 1 今日の進め方

### (1) 今日のゴールや内容の説明

○ワークショップ①

対話の場のまとめ案について意見交換し、この会のまとめをつくらう。

○ワークショップ②

対話の場に参加した感想、気付いたことを共有しよう。

※テーマ別のメンバーは、テーマ毎にしない。他のテーマの意見も聞きながらまとめよう。



### (2) 対話の場のまとめ案について意見交換しよう！

・これまでの意見を基に、対話の場のまとめ案として、次の3つを整理

No	まとめ案	概要	話し合い
1	大切にしている視点	マネジメントを進めるうえで、大切にしている基本的な考え方	①～③
2	施設分類別方向性	9つの施設分類別の20年間の視点での方向性	②～④
3	先導的な施設	4年間で具体的に取組む、賢く使うモデル施設(プロジェクト)	④

・事務局から3つの案を説明(第3回、第4回の意見は別冊資料参照)

・『説明を聞いて、感じたこと、付け加えたいことを自分達みんなが進める視点で』を書き出す。

・グループで意見交換して、まとめ案の内容を深める。

POINT 「自分達みんなで」

### (3) 対話の場に参加して感じたこと、気付いたこと

・この会に参加した感想や気付いたことをどんなことでもいいので書き出す。

・グループでの意見交換、発表をして全体で共有

第5回目は最終回です。この対話の場としての意見をまとめます。  
この場の意見を基に、自治基本条例推進会議の皆さんが平成27年3月に「施設分類毎の方向性、先導的な施設」について市に管申します。  
⇒その管申を基に市で基本計画をつくり、具体的なマネジメントを進めます。

2 話し合いの様子



第5回対話の場 (WS1)  
まともな案に感じたこと、追加したいことを自分達みんなで進める視点で考える。

グループ	項目	意見
1	情報発信	全体的に情報を知りやみんが知っている一共通理解
	！	<p>原点</p> <p>公共施設 愛着のあるホーム覚えやすいネームに整える</p> <p>共有出来る施設は買収使う</p> <p>少数量にも向き合う</p> <p>庁舎施設の統合 交通機関も整備して</p> <p>全てが情報発信から始まります。市民にしっかり告知をし、安心して選べるようにしてほしい。発信と受信による共通理解を基盤とした取り組みを。</p> <p>誰が使うのかよく考えて施設をつくる。使いやすさ</p> <p>使いたいと思える施設</p> <p>市民の人が住みやすくなる施設と訪れる人の魅力を感じる施設は別なので、ごっちゃにならないように気を付ける。</p> <p>大事にすべきものは大事に、投資すべきものは投資する</p>
2	施設のことをお願い切ってもっと考えていこう！！	<p>市がもっている地区で運営するものは住みやすさを中心に。また、情報交換を大切に</p> <p>今後も対話できる場をつくる</p> <p>アイデアを出したり決めたりする場としては素晴らしい結果がいくつも出てほしい。</p> <p>小さな対話の場をたくさんつくと、それを大きくまとめていったらどうか</p> <p>方針を決めたり、合意形成の場としては若干疑問が、一度、もっと大きな規模の(お祭りやイベントみたいなのを兼ねてもいいから)市民が大部分参加するような(数千人規模の)ワークショップをやったらどうか。</p> <p>この対話での「合意形成」を市民全体の合意形成にするためには、どうしたらいいのかな？</p> <p>小さな対話から大きなワークショップまで、今回のご縁も大切に交差して対話していこう</p>
	思い切ったことをやろう！！	<p>そのためには・・・</p> <p>全堂もっと対話していこう！！</p>
3	優しさあふれるボランティア活動のためハート♡(ハート)	<p>人づくり</p> <p>ボランティアがきかんかな</p> <p>やさしさがいっぱいいな</p> <p>ボランティア・NPO系の充実のための公共施設</p> <p>みんなが「やさしさ」のある市。1人老人・子供 みんなの目で守る市</p>

デザイン性をたしかめるしくみ	とにかく空間作りのデザイン性が大切。インテリアコーディネーターや建築家の協力を求めるしくみを
移動手段について	“まとめたけれども使いにくい”ならならぬ”畢竟も大事 例えば…コミュニティの移動手段 人が集まる施設にするためにはバスとかタクシーとかも一備に考えていかなければならないのではないか。 仮に相乗りが聞くと高いたスペースの有効活用が必ずで来るという特徴が欲しい、加減も含めて 交通手段として、面々の実態と交通手段(一歩)のあとに欲しいな 交通手段の活用は重要か。
買上のための販路のしくみ	販路といっても地域に限定したところからファンチャイスイ型(?)までいろいろある。その中から買的に高いものを選ぶノウハウが欲しい 販路化するとどのぐらい財政的な負担が減るのだろうか？ 相良の人はどうとか相良の人はどうとか言っていたが、生産的な意見は言わない条件を作ろう
仲良し条件	“まとめる”という感覚に必要、相良の条件、管理面においても 買上関係あると思うが… 相良の方向性、相良の考えを考えたとき必要場所 に！相良の成果！個人の見えを主張しない 相良性がなくなっても、新しい相良に行くことが相良しく感じることに必要なのは、 “コンバクト化”だから相良の“視点も、人が来る、人を呼ぶ能力”が重要 なくなっていく建物、取りこわされていく建物にも戻った時の思い、必要性、関わった人の歴史がある。 現状ではいろいろな相良の案が出るので、相良を振り廻る作業をやるべきである。 過去を振り廻る事で、相良の相良が戻ってくる！！ 相良の相良が戻ってくる 民間と行政の連携 相良者の相良を大切に 相良には相良もある、過去一歩、人口相良等の相良の相良の相良 高層の相良を相良に、アクセス(介置施設)等 相良、相良化していくことは大切だが、市民にとって使い易いものにしていくことも大切。年齢・距離など… 相良に相良を合わせる事は大切 相良の相良は？ 相良の相良は？
過去も振り廻ろう！	
過去あったの… 未来志向	
↑	「伝わる」と「伝える」とは違う

プロジェクトチームが必要？	公共施設など専門的な金を立ち上げては？ 話していることが本当に実現できるのか検証 できるの？不安があります。でも、やってみよう！ 現状に合った思いを大切に、理解する。 利用者の視点(高齢者・子供・父・母) 施設等 相良ができたとして、そこへの移動手段を明確にしてほしい 10年経ったが…相良と相良の違い、間たりを要感しています。 地域を無くす 学校施設の利用は期待したい、仮之原市長が一つになれる場所 市内外への情報 空き施設の利用 市外への提供 HP・ネットの活用 もっと広く市民へ周知 参加 下線の部分 複合的に賛成！！ 本間さんよくまとめてくれた！ ありがとうー！ 相良には文化がある。資源がある。 津波避難ビルとして改修。庁舎を「相良城」 東京一京都 ワシントン→ニューヨーク 北京→上海 マドリッド→バルセロナ 2F コミュニティ・テナント(和風?) 3F 図書館 4F 「劇場」 全ての文化・商業の中心として現代における城の本質は相良 方向性は出たが、それを進めるのは地域住民、地域に整務をする。 仮之原市長 市長の意見(利用する方)が必要 相良を進行するには地味な準備をもっと知る事 行政施設 1つにまとめるのがBETTER? 相良?どっちがBETTER R?どうやって決めるのがBETTER? 学校施設 空き相良、施設の利用はまだまだアイデアがあるかも 文化施設 いーらを全市で利用できるっていいね! 各施設の統合については横断的話し合いがもっと必要 行政・コミュニティ・観光…分けて考えていますが、「横断」が重要 土台として横断的に考えよう 決め方、やり方市長と共に 相良丸に集って 観光文化の相良城
利用者 どうやって来るの?	
仮之原市長を1つに	
情報提供、発信	
ほんまくん、ありがとう！ みんながんばろう！	
5	
6	

第5回対話の場 対話の場に参加して感じたこと、気付いたこと (WS2)

グループ	項目	意見
1	対話って大事 あらためて実感した時間だった	
	①牧之原市の未来を考える	楽しい 市民の方々の市・地域への思いが素晴らしいと感じる 地元に対して愛着がある人が多いと思う 牧之原市民の思い、市制への思いが伝わっている 牧之原市の未来を考えることができた 職種がらう方と話し合いの場をもち、視野が広がった いろんな立場での意見がきけた 問題を自分事として考えるよい機会となった いろいろな立場の人、普段の生活では話をする機会がないであろう人と話をする機会があり、勉強になりました。 気付かなかった事に気づかされた 思いついたアイデアをもつ楽しさ=夢をもたうまく伝えれば共有できるかな？
	②牧之原市への思い	
	③いろいろな立場との交流	
	④夢やアイデア	
2	⑤良い刺激	良い刺激 母ではなく、自分として考える時間が貴重だった。 自分が活動している範囲がとてもしない 自分のできる事をしたいと思った 何でそうなったのかなと考えるようになった (どうすればいいのかな) 普通に生活していたら施設について考えたり知ることができなかつた。参加できて良かったと思う。 何かを考えて人と話をする「対話」というのは、とても楽しい事だと思 う！ フアンリの方がとても話が上手い。 もっと色々な人の意見を聞きたい 皆それぞれ強い思いを持っている。(タイミング待ち) 賢く使うに同意する人が多い。あとは「思い」との調整 橋原町と相良町の合併の前に男女協働サロンがもしあつたらどうな つていただろう 橋原にも文化と歴史がある！！ 合併したとは言え、橋原・相良で知らない事が多すぎる
	感想	
	合併してみてもいいかな	

	合併のわだかまりって、まだけっこうあるんだな 男女協働サロンの見学に遠くから様々なお客様がいらして下さるので、これ自体を観光資源にすればいいんじゃない？ 協働サロンの活動状況を市長へ情報を書きます。 ①例 月1度でも又は2月に1度 ②有料でも可 1冊20円～100円 公共施設マネジメントの活動をインターネットでくわしく読ます 市議会もワークショップをやってみては？ もっと高岡なのから気楽なものまで、いろんな「対話の場」があったらいいのかな 牧之原市長 10才ありがとう！笑顔で成人式！ 私たちは勝をそだてた。どんなにナになるのかな？(仲良し条例もよろしくね。) 大切な時間をかけて一生懸命話したので、なんとかいい形になるよ う願っている。 言いつ放しにせずに今後もちろんと見守る。責任感 実行する人は信頼させてくれ！がっかりさせないで！がんばれ！ 実際にやる時は専門家の力も必要。例えばデザイン性 きつと牧之原市はすばらしい市になる 対話の大切さ。人の意見を否定しないことが大事 「共感」が基本。否定からは新しいものが生まれません！ 自分の意見が書えてよかった (聞くばかりにならない) 社会はひろい。市にはいろいろな人が住んでいる。働いていて、私の意見でちっちゃいなー。でも話せてよかった。 いろんな世代が集まると良い意見が出る 自分では考えられないような領域のことを考えられてよかった。 年齢層・性別「カオス」であることに重要なカギが... 中学生、小学校高学年もいたほうがよいかも 選挙権のない子どもたちの意見もきいてみてよかった。統合の話ってそもそも子供の意見ってとっているのか？ 知り合いが何人かできてよかった 社大な計画に「参画」していると感じ。作られてからコメントを求められるより遠慮に聞かれる方がうれしい。 来てよかった。勉強になった。
今後の案	
言ったことへの責任 聞いた人(かなえる人)の責任	
対話と共感	
色々な人と考えられた！！	
もっとあつたら良かったね	
遠慮に聞かれた 「来て良かった！」	

	<p>数字(統計と財政)はもつとあってもよい？</p> <p>細かな問題や意見の違いはあるけど、妥当な方向性はあってそれは共有できそう</p> <p>ちょっと懸念もあったかな..</p> <p>自分の常識は「他人にとって非常識」</p> <p>勝手なイメージと現実のギャップ</p> <p>牧之原市が抱えている問題・課題が分かった。</p> <p>参加する事でさまざまな立場の方の考えがあるとあらためて気づく。いろいろな事に興味がある。</p> <p>「提案」に参加して着目することのなかつた施設を見たり話が聞けた</p> <p>自分の職種以外の他の分野の方の意見が聞けて良かった</p> <p>様々な職種の方々の考え・意見を知る良い機会だった。</p> <p>同じように考えていく大切さ</p> <p>職場にいるだけでは出せない人との出会いがあったこと</p> <p>「伝える」「伝わる」の違いと方法</p> <p>話を深めていくそのタイミングがむずかしい。</p> <p>相手の話の内容がよく聞こえない時がある</p> <p>「わかった」「納得した」そのことをどう評価するか？短い時間では評価できない。(それぞれに散って(別れて)しまうので)</p> <p>専門用語や難しい言葉が多かった</p> <p>施設マネジメント...結果について言うのは楽だけど、考えるとなると難しいです。</p> <p>専門的な人や会社を増やした方が良いのでは？</p> <p>多くの人にこの体験をしてもらいたい。自分の住むまちづくり</p> <p>サロンにでてない人にはやっぱり伝わりにくいね。広報には載っていているけど人伝えにはかなわないね。</p> <p>2月28日楽しみ。いつもは..</p> <p>これからが楽しみです。</p> <p>公共施設という視点で市について考えることができ良かった。</p> <p>いろんな意見が聞ける刺激</p> <p>重たいこと、悪い、気付きを刺激、伝える機会って大切</p> <p>いろいろ考えられて勉強になりました。有難うございます。</p> <p>若い人の力を感じました。</p> <p>一つのテーマでも人それぞれちがうことが理解できた。</p>
課題	
思ったこと	
4	<p>GOOD！！</p> <p>いろいろな人と出会い・話し合い、いろいろなことを考えられるようになった！！</p>
今後のための あえての改善点	
“伝える”よりも“伝わる” 工夫を	
今後のサロン	
みんなに伝わるように	
結果報告たのしみ♡ 本間くんがんばって	
5	
きけてよかったな♡	

	<p>会場の雰囲気がいいます。楽しいです。</p> <p>市民一体となって考えるのはすごく素晴らしい。</p> <p>相良と楢原 頑張ってわけてあげないけど、同じ仲間って思ってたな一つになりにくいな。</p> <p>あれだけ言ったのに...って未来にそうならないように頑張ろう！！</p> <p>素敵な興味ができました</p> <p>今年進を感じました。でも話ができてよかった</p> <p>皆さん、立派です。</p> <p>いろいろな視点からの意見を聞く事が出来て公共施設マネジメントワークショップに参加して良かったと思う。</p> <p>奮立しているような レールに乗っかっているような</p> <p>みんなで作るとワクワクします！！</p> <p>一番最初に感動したのは、サロンのルールです！！是非すべての学校で伝えてあげてみたい</p> <p>太鼓いいなあ そういったWSを知らない</p> <p>みなさんがどんどん進化していかれるのにも私もついていきたいです！</p> <p>まとめる市役所すごい。本間さんが特にすごすぎ</p> <p>グラフィックがおもしろくて楽しいな一。</p> <p>牧之原市から日本が変わる気がしました！</p> <p>意外に影響力があるなあ</p> <p>自分では思いつかないようなアイデアが飛び出しますね</p> <p>幸せを自然体で感じられる牧之原市に感謝です♡</p> <p>楽しい雰囲気ワークショップが進んでいきました</p> <p>場所が広いっていい (東京じゃ不可能)</p> <p>牧之原の地図を使ったアイスブレイクは良かった</p> <p>色々な人とつながれる</p> <p>トイレ休憩短すぎ！？</p> <p>WSでやる件の以前資料があればよいのでは</p> <p>休憩時間、他の団体の方とのコミュニケーションの時間がほしい</p> <p>WSでの討論時間が短い</p> <p>市長の運び書いたが横断的。でも行政職員多いかな。</p> <p>WSでやる件と必要でない件もあると思う</p> <p>WSにも職員を入れるべきではないか</p>
力になる	
期待してます。	
反省	
④	
	<p>燃える！！ワークショップ</p> <p>輝く牧之原！！</p> <p>太陽とタイコ！！</p>
6	



平成 27 年 12 月 18 日 (金) 静岡新聞朝刊 21 面

# 市役所庁舎移転は「検討」 牧之原公共施設の在り方議論

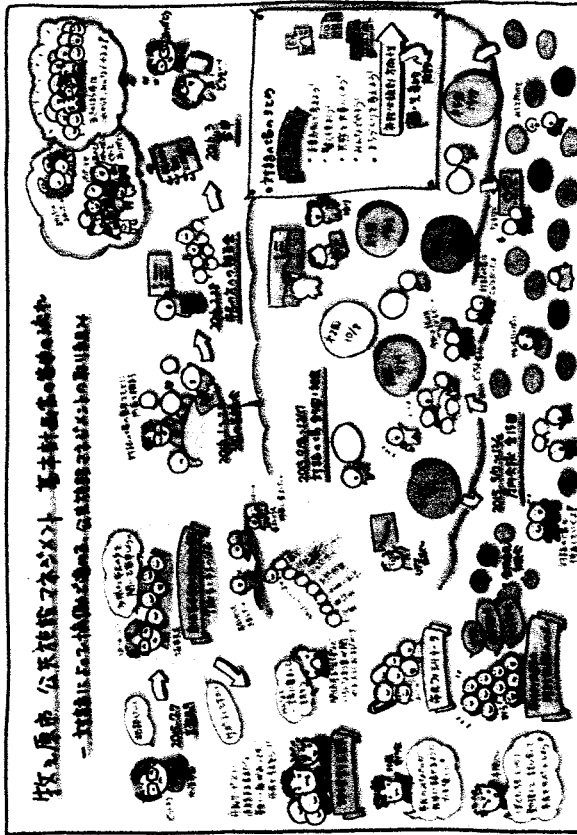
牧之原市が基本計画を策定するにあたり、市役所庁舎の移転先について、市議会や市民らからさまざまな意見が出ている。市は「検討」する意向を示している。

市議会の議員は「市役所は市民にとって身近な存在である。庁舎の移転は、市民の利便性を考えた上で、慎重に検討しなければならない」と述べ、庁舎の移転先をめぐって議論を呼んでいる。

市役所庁舎は、現在市庁舎の中心となっている。市は、庁舎の移転先として、市庁舎周辺の土地や、市庁舎から離れた土地を候補地として検討している。

市は、庁舎の移転先をめぐって、市議会や市民らからさまざまな意見が出ている。市は「検討」する意向を示している。

全体の流れのまとめ



【事務局】  
 牧之原市政策協働部地域創生課（本間直樹）  
 電話：0548-23-0053 FAX：0548-23-0059  
 E-mail：seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

る。農作物をメインとし、市民の生活を支える役割を果たしている。市は、庁舎の移転先として、市庁舎周辺の土地や、市庁舎から離れた土地を候補地として検討している。

市は、庁舎の移転先をめぐって、市議会や市民らからさまざまな意見が出ている。市は「検討」する意向を示している。

市役所庁舎の移転は、市民の利便性を考えた上で、慎重に検討しなければならない。市は、庁舎の移転先として、市庁舎周辺の土地や、市庁舎から離れた土地を候補地として検討している。